

「Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決」～「Ⅴ 5年後の姿と実施効果の評価」

改訂イメージについて

【事務局案】

<目次>

1	「Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決」	P 2
2	「Ⅳ 文化芸術の振興に向けての主な施策方向」	P13
3	「Ⅴ 5年後の姿と実施効果の評価」	P30

1 「Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決」の主な改訂内容

(1) 前文

現状把握等の方法について、意見交換会や地域説明会での意見に加え、第1期目標設定期間の検証、社会経済状況等の変化、審議会委員意見を参考とした旨を追加

(2) 文化芸術の各分野について

ア 全分野共通事項

(ア) 第1期の県施策等の成果と課題、5年間の社会経済状況等の変化、審議会委員意見などから抽出した事項を反映

→ 県文化芸術コーディネーターの設置、東日本大震災津波の影響など

(イ) 見出し番号の整理を行ったこと 例：1)、2)→ア、イ (※以降、第IV章・第V章も同じ)

イ 各分野における主な改訂事項 (※上記1の共通事項に含まれていない事項)

(ア) 芸能・芸術分野

- 前文において、芸術・芸能の素晴らしさを「感じる」対象を、県民から県内外（の人々）に拡大
- 「主な現状と課題」に、次代の担い手・若者等の発表の場が少ないことを追記
- 「必要と考えられる対策」に、情報発信手段の充実化、被災地への支援等を追記 など

(イ) 伝統文化分野

- 「主な現状と課題」に、平泉の世界文化遺産登録の効果に係る事項を追記 など

(ウ) 生活文化分野

- 前文において、生活文化の重要性を強調したこと。
- 「必要と考えられる対策」に、生活文化を指導・伝承する人材の活用等を追記 など

(エ) 景観

- 「目指すべき理想の姿」に、景観の再生と「ふるさと」の形成について追記 など

第Ⅲ章については、9月に開催する市町村等・文化芸術団体との意見交換会(参照:資料4)での各意見、現在集約中の「文化芸術に関する意識調査」(参照:参考資料4)の集計結果等により、さらに内容を精査していきます。

1 「Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決」

※ 下線は、改訂部分であること。

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決 ここでは、条例が分類している3つの文化芸術分野と景観分野の現状とそれぞれが抱える課題の解決に何が必要と考えるかを述べています。 現状の把握等に当たっては、各種文化関係調査結果や県民意識調査結果等の統計データのほか、平成19年度に行った地域説明会で県民の皆様から寄せられた御意見、<u>更には、平成20年度に行った芸術文化団体や市町村行政担当者との意見交換会での御意見を参考としています。</u></p> <p>これらのデータ、御意見を踏まえ、岩手の文化芸術の特徴と振興の方策から目指すべき姿（理想）を明らかにし、今後5年間でどこまで理想に近づけるかを、考えられる具体的方策とともに検討したものです。</p> <p>1 芸術・芸能分野 振興のキーワード=「感じる」と「支える」 文学、音楽、美術、工芸、デザイン、写真、演劇、舞踊、メディア芸術（映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術をいう。）その他の芸術及び歌唱その他の芸能（伝統芸能を除く。）</p> <p>(1) 主な現状と課題 芸術・芸能分野では、<u>県民意識調査や文化芸術団体との意見交換等において、さまざまな課題があげられましたが、その主なものは次のとおりです。</u> この分野の一層の振興を図るためには、特に、県民の方々が芸術・芸能の素晴らしさを「感じる」ことと、地域の文化・芸術活動を地域全体で「支える」ことが大切であると考えます。</p> <p>1) 地域の芸術・芸能にどんなものがあるか分かりにくい 地域の芸術・芸能を調べようと思っても、情報がばらばらで分かりにくいことがあります。また、県内や全国で活躍している活動家等が県民に広く知られているとは言い難い状況にあります。</p> <p>2) 文化芸術と県民をつなぐ力が弱い、鑑賞の機会が少ない 優れた文化芸術に触れる機会が十分に確保されていない場合があります。また、優れた文化芸術に触れようとしても、そのような機会を提供できる人や団体とのつながりを作る方法が見つけられず鑑賞や活動に至らない場合があるほか、地理的条件による制約もあります。</p> <p>3) 活動や発表が十分にできない 予算や場所の関係で活動場所や資材等の確保が困難な場合があります。また、文化芸術の発表の場が少ないことがあります。</p> <p>4) 次代の文化芸術の担い手の育成が十分でない</p>	<p>Ⅲ 各分野の目指すべき姿と課題の解決 ここでは、条例が分類している3つの文化芸術分野と景観分野の現状とそれぞれが抱える課題の解決に何が必要と考えるかを述べています。 現状の把握等に当たっては、各種文化関係調査結果や県民意識調査結果等の統計データのほか、平成21年からの5年間の目標設定期間における<u>県施策等の検証結果、社会経済状況等の変化、岩手県文化芸術振興審議会での委員意見、更には、平成26年度に行った芸術文化団体や市町村行政担当者との意見交換会、地域説明会で県民の皆様から寄せられた御意見等を参考としています。</u></p> <p>これらのデータ、御意見を踏まえ、岩手の文化芸術の特徴と振興の方策から目指すべき姿（理想）を明らかにし、今後5年間でどこまで理想に近づけるかを、考えられる具体的方策とともに検討したものです。</p> <p>1 芸術・芸能分野 振興のキーワード=「感じる」と「支える」 文学、音楽、美術、工芸、デザイン、写真、演劇、舞踊、メディア芸術（映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術をいう。）その他の芸術及び歌唱その他の芸能（伝統芸能を除く。）</p> <p>(1) 主な現状と課題 芸術・芸能分野における主な現状と課題は次のとおりです。 この分野の一層の振興を図るためには、特に、<u>県民の方々をはじめ、県外の方々も本県の芸術・芸能の素晴らしさを「感じる」ことと、地域の文化・芸術活動を地域全体で「支える」ことが大切であると考えます。</u></p> <p>ア 地域の芸術・芸能にどんなものがあるか分かりにくい 地域の芸術・芸能を調べようと思っても、情報がばらばらで分かりにくいことがあります。また、県内や全国で活躍している活動家等が県民に広く知られているとは言い難い状況にあります。</p> <p>イ 文化芸術と県民をつなぐ力が弱い、鑑賞の機会が少ない 優れた文化芸術に触れる機会が十分に確保されていない場合があります。また、優れた文化芸術に触れようとしても、そのような機会を提供できる人や団体とのつながりを作る方法が見つけられず鑑賞や活動に至らない場合があるほか、地理的条件による制約もあります。</p> <p>ウ 活動や発表が十分にできない 予算や場所の関係で活動場所や資材等の確保が困難な場合があります。また、文化芸術の発表の場が少ないことがあります。</p> <p>エ 次代の文化芸術の担い手の育成が十分でない</p>	<p>○ 第1期目標設定期間の検証、社会経済状況等の変化、審議会委員意見、今年度実施（予定）の意見交換会・地域説明会等での意見を参考とした旨を記載（参考データ等集約年の時点修正）</p> <p>○ この章の前文において、県民意識調査・意見交換会等から参考にした旨をすでに述べているため、参考元の記述を削除（文章の簡略化を行った。以下(2)及び(3)も同じ。）</p> <p>○ 「県外への情報発信の強化」「国際化の時代における情報発信の位置づけをどうするか」といった審議会委員意見から、「芸術・芸能の素晴らしさを感じる」主体を、「県外の方々」まで拡大【委員意見】</p> <p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「カ」も同じ。)</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>文化芸術の担い手を育成するためには、幼少期から優れた文化芸術に触れ感動する機会を十分与えるとともに、若い世代を中心とした育成が必要ですが、岩手の文化芸術を支える担い手が十分に育っていません。</p> <p>5) 団体としての活動が難しくなっている 団体に参加する活動者が少なくなっているところや、会員の高齢化が進んでいるところもあり、活動に支障が出ている文化芸術団体もあります。</p> <p>6) 文化芸術による地域振興体制づくりが困難である</p> <p>文化芸術を核とした地域振興を図ろうとしても、活動者・支援者・地域・行政等が一体となった取組体制を作るには時間がかかる場合があります。</p>	<p>文化芸術の担い手を育成するためには、幼少期から優れた文化芸術に触れ感動する機会を十分与えるとともに、若い世代を中心とした育成が必要ですが、岩手の文化芸術を支える担い手が十分に育っていません。 <u>また、次代の文化芸術の担い手・若者等が多く参加・鑑賞する芸能・芸術分野における発表の場や機会がまだまだ少ないことがあります。</u></p> <p>オ 団体としての活動が難しくなっている 団体に参加する活動者が少なくなっているところや、会員の高齢化が進んでいるところもあり、活動に支障が出ている文化芸術団体もあります。</p> <p>カ 文化芸術による地域振興体制が未整備である</p> <p>文化芸術を核とした地域振興を図ろうとしても、活動者・支援者・地域・行政・文化施設等の各主体が一体となった取組体制が全体的に未整備の状況です。</p> <p>キ 東日本大震災津波の発生により活動への支障を来している</p> <p>沿岸部においては、津波による文化施設の損壊、道具等の流失等により、活動や鑑賞に支障を来している地域もあります。</p>	<p>○ 「子ども・若者等が文化芸術に参加・鑑賞をする機会が減っている」「文化芸術に入っていく取組の必要性」といった審議会委員意見を参考に追記【委員意見】</p> <p>○ 「市町村間・地域間における文化芸術振興・支援のばらつきが生じている」といった審議会委員意見を参考に修正【委員意見】</p> <p>○ 文化芸術活動支援ネットワークの全体的な形成【5年間の課題】</p> <p>○ 「劇場等、実演芸術団体、行政等の相互連携協力」といった劇場法の趣旨を採用【県文化芸術コーディネーター意見】</p> <p>○ 震災の影響について追記【5年間の社会経済状況等変化】</p>
<p>(2) 目指すべき理想の姿</p> <p>さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、芸術・芸能分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <p>県民の日常の暮らしの中に、地域の芸術・芸能情報が満ち溢れ、誇りとなっているほか、無理のない負担で鑑賞できている。また、希望すれば、芸術・芸能活動を始めることができる環境にある。</p> <p>県民が優れた芸術・芸能に触れる機会が確保されている。また、さまざまな希望に応じ、優れた芸術・芸能鑑賞の紹介・橋渡しが行われ、気軽に利用できている。</p> <p>芸術・芸能活動を行う非営利団体等の活動に対し、幅広い人的・物的支援ネットワークが構築され、団体の活発な活動につながっている。また、その活動成果を発表できる機会が整備され、広くその活動が知られている。</p> <p>幼少期から優れた文化芸術に触れる機会があるとともに、創造性と個性が生まれ、岩手の文化芸術の次代を担う人材が育っている。</p> <p>特定の芸術・芸能を地域振興の核としようとする地域において、活動者・県民・行政等が一体となった取組が展開されるとともに、メディア芸術等の発信力を生かした取組が地域活性化の成果を上げている。</p>	<p>(2) 目指すべき理想の姿</p> <p>さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、芸術・芸能分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <p>県民の日常の暮らしの中に、地域の芸術・芸能情報が満ち溢れ、誇りとなっているほか、無理のない負担で鑑賞できている。また、希望すれば、芸術・芸能活動を始めることができる環境にある。</p> <p>県民が優れた・数多くの芸術・芸能に触れる機会が確保されている。また、さまざまな希望に応じ、優れた芸術・芸能鑑賞の紹介・橋渡しが行われ、気軽に利用できている。</p> <p>芸術・芸能活動を行う非営利団体等の活動に対し、幅広い人的・物的支援ネットワークが構築され、団体の活発な活動につながっている。また、その活動成果を発表できる機会が整備され、広くその活動が知られている。</p> <p>幼少期から優れた文化芸術に触れる機会があるとともに、創造性と個性が生まれ、岩手の文化芸術の次代を担う人材が育っている。また、新たに活動を行う芸術・芸能の選択肢(分野・ジャンル)が数多く設けられている。</p> <p>特定の芸術・芸能を地域振興の核としようとする地域において、活動者・県民・行政・文化施設等が一体となった取組が展開されるとともに、メディア芸術等の発信力を生かした取組が地域活性化の成果を上げている。</p> <p>沿岸被災地において、芸術・芸能の再開と活性化が見られ、文化芸術を通じた地域振興が行われている。</p>	<p>○ (1)-エに対応 (新しい芸能・芸術文化)</p> <p>○ (1)-エに対応 (新しい芸能・芸術文化)</p> <p>○ (1)-カに対応 (劇場法の趣旨)</p> <p>○ (1)-キに対応 (震災関係)</p>
<p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策</p>	<p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策</p>	

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p>	<p>目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p>	
<p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>家庭や身近な図書館等において、地域の文化芸術情報を気軽に収集できること。</p>	<p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>家庭や身近な場所等において、県内全域の最新の文化芸術情報を気軽に収集できること。</p>	<p>○ 情報発信手段の拡充（の必要性）があることから文章を修正【5年間の課題、5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 情報発信手段の拡充（の必要性）があることから文章を修正【5年間の課題、5年間の社会経済状況等変化】</p>
<p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <p>日常生活において楽しんで使えるインターネット発信</p> <p>文化芸術紹介冊子・DVDなどの各地図書館等への配置</p>	<p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <p>日常生活において楽しんで使えるインターネット発信と情報発信手段の充実化</p> <p>文化芸術紹介冊子などの各関係施設等への配置</p>	<p>○ 文化芸術コーディネーターの設置【5年間の取組成果】</p> <p>○ 「現指針[旧]」の「必要と考えられる主な対策例」に記載されている「…窓口機能の設置」及び「…相談体制づくり」は、県文化芸術コーディネーターの設置とその役割を想定したものであり、県内4広域圏に当該コーディネーターが配置されている現在、その機能強化を図る段階であること【5年間の取組成果、追加・修正の観点】</p>
<p>文化芸術の鑑賞について紹介・アドバイス等が行われるとともに、県民が気軽に鑑賞できること。</p>	<p>文化芸術の鑑賞について紹介・アドバイス等が行われるとともに、県民が気軽に鑑賞できること。</p>	<p>○ 「各地での研修会、ワークショップ、アウトリーチ等を増やす機会要」「子ども・若者等が文化芸術に参加・鑑賞をする機会が減っている」「文化芸術に入っていく取組の必要性」といった審議会委員意見を参考【委員意見】</p>
<p>優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う、気軽に利用できる窓口の設置</p>	<p>岩手県文化芸術コーディネーターの活用</p> <p>○ 優れた文化芸術の鑑賞への橋渡し、気軽に利用できる窓口機能の強化</p> <p>○ 新しい文化芸術の創造等を行う者へのアドバイス・支援等を行う相談機能の強化</p>	<p>○ (2)の4番目の「理想の姿」に対応（新たな文化芸術分野）</p>
<p>学校教育等における優れた文化芸術鑑賞事業の実施</p>	<p>学校教育・県内各地域等における優れた文化芸術鑑賞事業の実施</p>	<p>○ (2)の5番目の「理想の姿」に対応（劇場法の趣旨）</p>
<p>学校において十分な鑑賞の機会が確保されるとともに、文化芸術活動が活性化し、次代の担い手が育っていること。</p>	<p>学校や各地域において十分な鑑賞の機会が確保されるとともに、文化芸術活動が活性化し、芸術・芸能の様々な分野において、次代の担い手が育っていること。</p>	
<p>中・高校生の文化活動支援策の拡充、新進・若手芸術家等の創作活動支援の実施</p>	<p>中・高校生の文化活動支援策の拡充、新進・若手芸術家等の創作活動支援の実施</p>	
<p>芸術・芸能活動を行う団体に対する支援を行う団体・企業・行政等のネットワークが構築され、機能し始めていること。</p>	<p>芸術・芸能活動を行う団体に対する支援を行う団体・企業・行政等のネットワークが構築され、機能し始めていること。</p>	
<p>文化芸術活動に理解を示し、活動に必要な配慮を行う風土づくり</p>	<p>文化芸術活動に理解を示し、活動に必要な配慮を行う風土づくり</p>	
<p>特定の芸術・芸能による地域振興を目指す地域において、活動者・県民・行政が一体となった推進体制が整っているとともに、メディア芸術等の発信力を生かした具体的な取組が始まっていること。</p>	<p>特定の芸術・芸能による地域振興を目指す地域において、活動者・県民・行政・文化施設等が一体となった推進体制が整っているとともに、メディア芸術等の発信力を生かした具体的な取組が行われていること。</p>	
<p>文化芸術を核とした地域づくりを支援する体制づくり</p>	<p>文化芸術を核とした地域づくりを支援する体制づくり</p>	
<p>新しい文化芸術の創造等を行う者へのアドバイス・支援等を行う相談体制づくり</p>		

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 150px; margin-left: 100px;">← 新たな文化芸術の成果を発信する場の提供</div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 150px; margin-left: 100px;">← 新たな文化芸術の成果を発信する場の提供</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 250px; margin-left: 50px; margin-top: 10px;">沿岸被災地において、芸術・芸能の団体数・従事者数や催し・活動の回数が震災前の水準となり、文化芸術を通じた地域の復興及び振興が行われていること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 150px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">← 震災により被災した施設、道具等の復旧支援、被災地の活動者による催し・イベント開催等支援</div>	<p>○ (2)の6番目の「理想の姿」に対応(震災関係)</p>
<p>2 伝統文化分野 振興のキーワード=「伝える」と「参加する」 文化財、伝統芸能、地域固有の年中行事その他の伝統的な文化芸術</p> <p>(1) 主な現状と課題 伝統文化分野においても、県民意識調査や伝統芸能団体、文化財保護の一端を担っている市町村との意見交換等において、さまざまな課題があげられましたが、その主なものは次のとおりです。 この分野の一層の振興を図るためには、特にも、自分の地域の素晴らしい伝統文化への興味が薄い方々や次の世代の子どもたちに「伝える」ことと、地域の方々が積極的に伝統文化の保存継承活動に「参加する」風土を培うことが大切であると考えます。</p> <p>1) 地域にどのような伝統文化があるのか分からなくなっている 住んでいる地域にどのような伝統文化があるのか知らない人が増えてきています。小中学校等では地域の歴史・文化を理解させる教育も行われていますが、県民の手により地域の宝として保護していく機運が醸成されていない場合もあります。</p> <p>2) 伝統文化を継承する地域の力が弱まっている 地域によっては、伝統文化への認識や理解が進まず、保存継承活動に参加する人が減っている地域があります。この結果、伝統文化を支える地域の力が弱まっているところもあります。</p> <p>3) 伝統文化を継承していくための活動費用が十分とはいえない 伝統文化では多くの用具を使う場合がありますが、戦後の民俗芸能復興期に整備した用具の多くが更新期を迎えています。地域からの支援も受けられず、更新に要する費用が捻出できないため、活動に支障を生じていることがあります。</p> <p>4) 民俗芸能の指導者や参加者の高齢化が進み、伝承に支障を来している 地域固有の民俗芸能を指導できる者が育っておらず、このままでは絶える恐れがあるものもあります。また、小・中学校生の活動への参加はある程度図られているものの、その後進学や就職による仕事の都合などのため、なかなか参加できない場合もあります。</p> <p>5) 伝承活動や発表の機会が少なくなっている 民俗芸能は門打ち、結婚式、歳祝い、奉納等の折々の生活場面で演じられてきましたが、その場が失われつつあります。 その一方で上演がその地域から離れて行われることが多くなり、地域から離れ本来の姿が失われつつあるという意見もあります。</p>	<p>2 伝統文化分野 振興のキーワード=「伝える」と「参加する」 文化財、伝統芸能、地域固有の年中行事その他の伝統的な文化芸術</p> <p>(1) 主な現状と課題 伝統文化分野における主な現状と課題は次のとおりです。 この分野の一層の振興を図るためには、特にも、自分の地域の素晴らしい伝統文化への興味が薄い方々や次の世代の子どもたちに「伝える」ことと、地域の方々が積極的に伝統文化の保存継承活動に「参加する」風土を培うことが大切であると考えます。</p> <p>ア 地域の伝統文化とその内容・魅力への理解・関心が不十分である 平成23年の平泉世界文化遺産登録を契機として、本県の伝統文化に対する国内外からの注目度が向上し、地域の伝統文化を見直す・普及させる動きがある一方、住んでいる地域の伝統文化やその内容・魅力への理解・関心が低い傾向も見られます。 小中学校等では地域の歴史・文化を理解させる教育も行われていますが、県民の手により地域の宝として保護していく機運が醸成されていない状況も伺えます。</p> <p>イ 伝統文化を継承する地域の力が弱まっている 地域によっては、伝統文化への認識や理解が進まず、保存継承活動に参加する人が減っている地域があります。この結果、伝統文化を支える力が弱まっている地域もあります。</p> <p>ウ 伝統文化を継承していくための活動費用が十分とはいえない 伝統文化では多くの用具を使う場合がありますが、戦後の民俗芸能復興期に整備した用具の多くが更新期を迎えています。地域からの支援も受けられず、更新に要する費用が捻出できないため、活動に支障を生じていることがあります。</p> <p>エ 民俗芸能の指導者や参加者の高齢化が進み、伝承に支障を来している 地域固有の民俗芸能を指導できる者が育っておらず、このままでは絶える恐れがあるものもあります。また、小・中学校生の活動への参加はある程度図られているものの、その後進学や就職による仕事の都合などのため、なかなか参加できない場合もあり、依然として後継者不足が叫ばれています。</p> <p>オ 伝承活動や発表の機会が少なくなっている 民俗芸能は門打ち、結婚式、歳祝い、奉納等の折々の生活場面で演じられてきましたが、生活様式の変化、人口の減少、後継者不足等の問題から、その場が失われつつあります。 その一方で上演がその地域から離れて行われることが多くなり、地域から離れ本来の姿が失われつつあるという意見もあります。</p>	<p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「カ」も同じ。)</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 過去4年間における県民意識調査の調査結果を参考に修正</p> <p>○ 文章の整理</p> <p>○ 「全県土において、文化芸術活動における高齢化と後継者難という問題が生じている」という審議会委員意見を参考に追記。 【委員意見】</p> <p>○ 「生活様式の変化、人口減少、後継者不足」(県文化芸術コーディネーター意見)を参考に「場が失われている」要因を追記 【5年間の社会経済状況等変化、県文化芸術】</p>

現行指針【旧】	改訂案【新】	理由・考え方・備考
<p>6) 個々の民俗芸能に関する映像的な記録が活用されていない 無形の文化財については、映像等による記録保存が重要ですが、未だ保存されていない民俗芸能があるほか、保存の方法や形態がさまざまに有効に使われていない場合があります。</p> <p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、伝統文化分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <p>県民が日々の暮らしの中で地域の伝統文化を実感でき、日常生活の一部として民俗芸能活動や文化財保護活動等の伝統文化活動に参加している。また、地域外に対して、地域の伝統文化の魅力が発信されている。</p> <p>地域の宝として文化財や民俗芸能及び年中行事が地域住民に理解され、地域全体のものとして位置付けられている。また、学校、団体、企業、行政等がこれらの活動を理解し、活動支援や参加への配慮が行なわれ、十分な活動が行なわれている。</p> <p>活動者が活動場所を容易に確保できるとともに、地域の中において発表・交流の場があり、地域に根ざした活動が展開されている。また、希望すれば、地域外で発表する機会が確保され、活動の活性化につながっている。</p> <p>全ての無形文化財の映像等の記録が整備され、伝統文化の発信や優れた技の伝承等に活用されている。</p> <p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>地域の伝統文化を時節ごとに理解でき、日々の生活に伝統文化を取り入れることができること。</p> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の伝統行事・伝統芸能等を季節・月毎に取り上げ、その魅力を発信 各地域の伝統行事・伝統芸能等への参加方法、実践方法等を発信 各地域の文化財等を活用した地域づくりへの支援と実践事例の発信 緊急に保存を要する伝統文化をDVDに保存、既存映像のDVD化 <p>早急に映像等に記録されるべき伝統文化の記録が行われ、映像記録等</p>	<p>カ) 個々の民俗芸能に関する映像的な記録が活用されていない 無形の文化財については、映像等による記録保存が重要ですが、未だ保存されていない民俗芸能があるほか、保存の方法や形態がさまざまに有効に使われていない場合があります。</p> <p>キ) 東日本大震災津波の発生により活動や伝承への支障を来している</p> <p>沿岸部においては、津波により練習施設が損傷、流失するなど、活動に支障を来している状況や長期避難等による地域コミュニティの衰退により、活動を休止している民俗芸能団体も見られます。</p> <p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、伝統文化分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <p>県民が日々の暮らしの中で地域の伝統文化を実感でき、日常生活の一部として民俗芸能活動や文化財保護活動等の伝統文化活動に参加している。また、地域外に対して、地域の伝統文化の魅力が発信されている。</p> <p>地域の宝として文化財や民俗芸能及び年中行事が地域住民に理解され、地域全体のものとして位置付けられている。また、学校、団体、企業、行政等がこれらの活動を理解し、活動支援や参加への配慮が行なわれ、十分な活動が行なわれている。</p> <p>活動者が活動場所を容易に確保できるとともに、地域の中において発表・交流の場があり、地域に根ざした活動が展開されている。また、希望すれば、地域外で発表する機会が確保され、活動の活性化につながっている。</p> <p>全ての無形文化財の映像等の記録が整備され、伝統文化の発信や優れた技の伝承等に活用されている。</p> <p>沿岸被災地において、民俗芸能等の伝統文化の再開が見られ、文化芸術を通じた地域振興が行われている。</p> <p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>地域の伝統文化を時節ごとに理解でき、日々の生活に伝統文化を取り入れることができること。</p> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の伝統行事・伝統芸能等を季節・月毎に取り上げ、その魅力を発信 各地域の伝統行事・伝統芸能等への参加方法、実践方法等を発信 各地域の文化財等を活用した地域づくりへの支援と実践事例の発信 伝統文化を映像ファイルで保存・データベース化 <p>映像等に記録されるべき伝統文化の記録が行われ、映像記録等がイン</p>	<p>術コーディネーター意見】</p> <p>○ 震災の影響について追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ (1)ーキに対応</p> <p>○ 伝統文化のDVD化、近隣図書館等への配架は措置済みであることから削除【5年</p>

現行指針 [旧]		改訂案 [新]		理由・考え方・備考
<p>がインターネットや近隣の図書館等で活用できること。</p>	<p>← 伝統文化映像のインターネット配信、DVDの近隣図書館等への配架</p>	<p>ターネット等で活用できること。</p>	<p>← 伝統文化映像のインターネット配信</p>	<p>間の取組成果】</p> <p>○ 情報発信手段の拡充【5年間の課題、5年間の社会経済状況等変化】</p>
<p>希望する活動団体について、地域外で発表・交流する機会が確保され、参加支援も行われ始めていること。</p>	<p>← 上演等を望む者と活動団体や活動団体同士をつなぎ、調整するサービスの提供</p>	<p>希望する活動団体について、地域外で発表・交流する機会が確保され、参加支援も行われ始めていること。</p>	<p>岩手県文化芸術コーディネーターの活用</p> <p>○ 上演等を望む者と活動団体や活動団体同士をつなぎ、調整するサービスの強化</p>	<p>○ 文化芸術コーディネーターの設置【5年間の取組成果】</p> <p>○ 「現指針[旧]」の「必要と考えられる主な対策例」に記載されている「…サービスの提供」は、県文化芸術コーディネーターの設置とその役割を想定したものであり、県内4広域圏に当該コーディネーターが配置されている現在、その機能強化を図る段階であること【5年間の取組成果、修正・追加の観点】</p>
<p>全ての活動団体について、地域で発表する機会が確保されていること。</p>	<p>← 団体等に、上演や交流・活動に係る費用を支援する者を紹介し、支援を実現するサービスの提供</p> <p>← 各地域での発表会や交流会を企画・実施するサービスの提供</p>	<p>全ての活動団体について、地域で発表する機会が確保されていること。</p>	<p>○ 団体等に、上演や交流・活動に係る費用を支援する者を紹介し、支援を実現するサービスの強化</p> <p>○ 各地域での発表会や交流会を企画・実施するサービスの強化</p>	
<p>地域の公共施設を容易に活用できること。</p>	<p>← 活動場所、用具等の各地域で利用可能な資源を紹介するサービスの提供</p>	<p>地域の公共施設を容易に活用できること。</p>	<p>○ 活動場所、用具等の各地域で利用可能な資源を紹介するサービスの強化</p>	
<p>地域・学校・団体・企業・行政等が伝統文化活動を支える具体的支援・配慮等が実施され始めていること。</p>	<p>← 伝統文化活動が社会に果たす役割を喚起し、地域社会で支える社会風土づくり</p> <p>← 活動者が所属する学校・会社等に対し、活動の重要性を喚起し、必要な配慮・支援を行うよう促すサービスの提供</p>	<p>地域・学校・団体・企業・行政等が伝統文化活動を支える具体的支援・配慮等が実施され始めていること。</p>	<p>← 伝統文化活動が社会に果たす役割を喚起し、地域社会で支える社会風土づくり</p> <p>← 活動者が所属する学校・会社等に対し、活動の重要性を喚起し、必要な配慮・支援を行うよう促すサービスの提供</p>	
<p>沿岸被災地において、伝統文化の団体数・従事者数や催し・活動の回数</p>	<p>← 震災により被災した施設、道具等の復旧支援、被災地の活動者による催し・イベント開催等支援</p>	<p>沿岸被災地において、伝統文化の団体数・従事者数や催し・活動の回数</p>	<p>← 震災により被災した施設、道具等の復旧支援、被災地の活動者による催し・イベント開催等支援</p>	<p>○ (2)の5番目の「理想の姿」に対応(震災関係)</p>
<p>沿った地域の復興及び振興が行われていること。</p>		<p>沿った地域の復興及び振興が行われていること。</p>		

3 生活文化分野 振興のキーワード=「尊ぶ」と「続ける」

茶道、華道、書道、方言、衣食住等に係る生活様式その他の生活に係る文化

(1) 主な現状と課題

生活文化分野においても、県民意識調査や市町村との意見交換等において、さまざまな課題があげられましたが、その主なものは次のとおりです。

この分野の一層の振興を図るためには、特にも、地域で育まれてきたさまざまな生活文化を「尊ぶ」意識の醸成と、日常生活の中で「続け」ていく風土づくりが大切であると考えます。

1) 地域の生活文化に対する意識が薄れつつある

3 生活文化分野 振興のキーワード=「尊ぶ」と「続ける」

茶道、華道、書道、方言、衣食住等に係る生活様式その他の生活に係る文化

(1) 主な現状と課題

生活文化分野における主な現状と課題は次のとおりです。

この分野の一層の振興を図るためには、特にも、県民の暮らしの基礎をなし、地域に根付き、育まれてきたさまざまな生活文化を「尊ぶ」意識の醸成と、日常生活の中で「続け」ていく風土づくりが大切であると考えます。

ア 地域の生活文化に対する意識が薄れつつある

○ 「生活文化に向ける視点の強化」「地域の豊かさの基本は生活文化」といった委員意見を参考に、生活文化の重要性を強調【委員意見】

○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」

現行指針【旧】	改訂案【新】	理由・考え方・備考
<p>ライフスタイル・サイクルの変化等により、自然環境等に比較して、地域の文化・伝統・言葉・風習・食生活等に関する尊重・保存の意識が<u>低くなる傾向があります。</u></p> <p>2) 日常で生活文化を伝える場面が減少しつつある 核家族化の進行、生活様式の多様化等により、日々の生活の場面において、地域の生活文化を伝えられる場面が減少している一方、地域活動への参加が低調な地域もあり、地域の文化を伝える日常の機会そのものが減少してきています。</p> <p>3) 生活文化の保存が十分になされていない 生活文化の性質上、文化として抽出することが難しい場合もあり、記録・保存等の措置が十分でない場合があります。また、地域特有のさまざまな生活用具が一般品に代替され、少なくなってきたものもあります。</p> <p>4) 地域の生活文化を体験できる機会が少ない 一部においてはグリーンツーリズム等により、地域の生活を体験できる場面もありますが、自分の地域の生活文化を総体的に体験できる機会は多くありません。また、生活文化の種類によっては、伝承できる人材が明らかでない場合もあります。</p> <p>5) 地域間交流・情報交換等の場面が少ない 一部において、生活文化に関するさまざまなサークル活動等が行われていますが、他の地域やサークルと交流する機会が少なく、他との比較やコミュニケーションにより、各地域の特色を再認識できるチャンスが少ない場合もあります。</p>	<p>平成25年にテレビドラマ「あまちゃん」が放送され、本県の生活文化が紹介されるとともに、方言や郷土料理などの地域の生活文化が見直される一方、ライフスタイル・サイクルの変化等により、自然環境等に比較して、地域の文化・伝統・言葉・風習・食生活等に関する尊重・保存の意識が<u>低い状況にあります。</u></p> <p>イ 日常で生活文化を伝える場面が減少しつつある 核家族化の進行、生活様式の多様化等により、日々の生活の場面において、地域の生活文化を伝えられる場面が減少している一方、地域活動への参加が低調な地域もあり、地域の文化を伝える日常の機会そのものが減少してきています。</p> <p>ウ 生活文化の保存が十分になされていない 生活文化の性質上、文化として抽出することが難しい場合もあり、記録・保存等の措置が十分でない場合があります。また、地域特有のさまざまな生活用具が一般品に代替され、少なくなってきたものもあります。</p> <p>エ 地域の生活文化を体験できる機会が少ない 一部においてはグリーンツーリズム等により、地域の生活を体験できる場面もありますが、自分の地域の生活文化を総体的に体験できる機会は多くありません。また、生活文化の種類によっては、伝承できる人材が明らかでない場合もあります。</p> <p>オ 地域間交流・情報交換等の場面が少ない 一部において、生活文化に関するさまざまなサークル活動等が行われていますが、他の地域やサークルと交流する機会が少なく、他との比較やコミュニケーションにより、各地域の特色を再認識できるチャンスが少ない場合もあります。</p> <p>カ 東日本大震災津波の発生により伝承への支障を来している <u>沿岸部では、東日本大震災津波の発生により、住民の長期避難や住居移転によって既存の地域コミュニティが衰退し、長年にわたって培われてきた生活文化の継承が難しくなっている地域もあります。</u></p>	<p>～「オ」も同じ。)</p> <p>○ 「あまちゃん」効果の追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 過去4年間における県民意識調査の調査結果を参考【県民意識調査】</p>
<p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、生活文化分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <div data-bbox="296 1375 1216 1449" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の住民が、その地域の文化・伝統・言葉・風習・食生活等の生活文化を総体的又は部分的に体験できる機会がある。</p> </div> <div data-bbox="296 1480 1216 1585" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の生活文化が総合的に記録されており、各地域の住民が家庭において擬似体験できるとともに、実践できる環境にある。また、希望すれば地域の様々な生活文化を体験できる機会がある。</p> </div> <div data-bbox="296 1617 1216 1722" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の生活文化の特徴が整理・紹介され、特徴ある生活文化が他の地域から認識されている。また、その成果が地域振興に活用されているとともに、その価値が地域住民の再認識につながっている。</p> </div> <div data-bbox="296 1753 1216 1827" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域や広域において、生活文化に関する交流会等が開催され、相互の情報交換等によりその活動が活性化できる場となっている。</p> </div>	<p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、生活文化分野で目指すべき理想の姿を次のとおりとします。</p> <div data-bbox="1380 1375 2300 1449" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の住民が、その地域の文化・伝統・言葉・風習・食生活等の生活文化を総体的又は部分的に体験できる機会がある。</p> </div> <div data-bbox="1380 1480 2300 1585" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の生活文化が総合的に記録されており、各地域の住民が家庭において擬似体験できるとともに、実践できる環境にある。また、希望すれば地域の様々な生活文化を体験できる機会がある。</p> </div> <div data-bbox="1380 1617 2300 1722" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域の生活文化の特徴が整理・紹介され、特徴ある生活文化が他の地域から認識されている。また、その成果が地域振興に活用されているとともに、その価値が地域住民の再認識につながっている。</p> </div> <div data-bbox="1380 1753 2300 1827" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>各地域や広域において、生活文化に関する交流会等が開催され、相互の情報交換等によりその活動が活性化できる場となっている。</p> </div> <div data-bbox="1380 1858 2300 1900" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>沿岸被災地において、生活文化が地域に継承され、文化芸術を通じた復興と地域振</p> </div>	<p>○ 震災の影響について追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ (1)一カに対応</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>各地域特有の衣食住等にかかる生活様式の記録を整備し、インターネットや<u>近隣図書館</u>で活用できること。</p> <p>各地域の生活文化の主なものについて、インターネット等による対外発信を行なっていること。</p> <p>希望する活動団体について、地域内外で発表・交流する機会が確保され、参加支援も行われ始めていること。</p> <p>地域の生活文化にかかるサークル活動等が整理・発信され、参加できる状態にあること。</p> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <p>各地域特有の生活文化のやり方（作り方、作法等）の整理、記録</p> <p>地域特有の生活文化の実践手法のインターネット配信、<u>近隣図書館</u>等への冊子配架</p> <p>生活文化の発表等を望む者と活動団体・者をつなぎ、調整するサービスの提供</p> <p>団体等に、発表・紹介・活動に係る費用を支援する者を紹介し、支援を実現するサービスの提供</p> <p>各地域での発表会や交流会を企画・実施するサービスの提供</p> <p>各地域の生活文化サークル活動等への参加方法の発信</p>	<p><u>興が行われている。</u></p> <p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <p>各地域特有の衣食住等にかかる生活様式の記録を整備し、インターネットや<u>身近な場所等</u>で活用できること。</p> <p>各地域の生活文化の主なものについて、インターネット等による対外発信を行なっていること。</p> <p>希望する活動団体について、地域内外で発表・交流する機会が確保され、参加支援も行われ始めていること。</p> <p>地域の生活文化にかかるサークル活動等が整理・発信され、参加できる状態にあること。</p> <p><u>沿岸被災地において、地域の生活文化が再興・継承され、文化芸術を通じた地域振興が行われていること。</u></p> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <p>各地域特有の生活文化のやり方（作り方、作法等）の整理、記録</p> <p>地域特有の生活文化の実践手法のインターネット配信、<u>各関係施設等</u>への冊子配架</p> <p>岩手県文化芸術コーディネーターの活用 <input type="checkbox"/> 生活文化の発表等を望む者と活動団体・者をつなぎ、調整するサービスの強化 <input type="checkbox"/> 団体等に、発表・紹介・活動に係る費用を支援する者を紹介し、支援を実現するサービスの強化 <input type="checkbox"/> 各地域での発表会や交流会を企画・実施するサービスの強化</p> <p>各地域の生活文化サークル活動等への参加方法の発信</p> <p>生活文化を指導、伝承することのできる人材の活用等</p>	<p>○ 情報発信手段の拡充（必要性）があることから文章を修正【5年間の課題、5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 文化芸術コーディネーターの設置【5年間の取組成果】</p> <p>○ 「現指針[旧]」の「必要と考えられる主な対策例」に記載されている「…サービスの提供」は、県文化芸術コーディネーターの設置とその役割を想定したものであり、県内4広域圏に当該コーディネーターが配置されている現在、その機能強化を図る段階であること【5年間の取組成果、修正・追加の観点】</p> <p>○ (2)の5番目の「理想の姿」に対応（震災関係）</p>
<p>4 景観 振興のキーワード=「分かり合う」と「守る」</p> <p>地域の歴史的又は文化的な景観</p> <p>(1) 主な現状と課題 景観についても、県民意識調査や市町村との意見交換等において、課題があげられましたが、その主なものは次のとおりです。 景観の一層の保全・活用を図るためには、特にも、県民の方々がその景観の素晴らしさを「分かり合う」ことと、自らその景観を「守る」という風土を産み出すことが大切であると考えます。</p> <p>1) 地域の景観の価値の共有化が進んでいない</p> <p>各地域における景観について、地域住民の間でその価値の認識と共有化が進んでいない</p>	<p>4 景観 振興のキーワード=「分かり合う」と「守る」</p> <p>地域の歴史的又は文化的な景観</p> <p>(1) 主な現状と課題 景観に関する主な現状と課題は次のとおりです。 景観の一層の保全・活用を図るためには、特にも、県民の方々がその景観の素晴らしさを「分かり合う」ことと、自らその景観を「守る」という風土を産み出すことが大切であると考えます。</p> <p>ア 地域の景観の価値の共有化が進んでいない</p> <p>各地域における景観について、地域住民の間でその価値の認識と共有化が進んでいない</p>	<p>○ 見出し記号の整理（以下、「改訂案」の「イ」「ウ」も同じ。）</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>い場合があり、積極的な保存・活用に至っていない場合もあります。</p> <p>2) 経費や制限が保存の支障となっている 景観の保全には、多額の費用と使用方法等の制限が必要な場合があり、これが支障となって、保存が進んでいない場合もあります。</p> <p>3) 景観と文化の関わりが整理されていない 景観がそれぞれの地域の文化と密接に関連しているにも関わらず、そのかかわりが十分整理・発信されておらず、文化全体の振興施策や活動とつながっていない場合があります。</p> <p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、景観で目指すべき理想の姿を次のとおり定めました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">歴史的、文化的な景観の価値が地域住民をはじめとして広く認識されている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域の文化の関わりが整理・発信され、地域の住民、団体、企業、行政等の総合的な文化振興活動につながっている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">保存・活用に関する各種公的支援制度等が十分に活用され、経費的な課題が保存の支障となっていない。</div> <p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">代表的な景観について、その地域の文化との関わりが整理され、発信されていること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各地域において景観の保全について、住民や団体・関係機関等が一緒になった話し合いが行われ、共通認識が持たれていること。</div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域の文化の関わり等を総体的に整理・記録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域文化を一体化としてインターネット配信、近隣図書館等への冊子配架</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各地域での話し合いを企画・実施するサービスの提供</div> </div> </div>	<p>場合があり、積極的な保存・活用に至っていない場合もあります。</p> <p>イ 経費や制限が保存の支障となっている 景観の保全には、多額の費用と使用方法等の制限が必要な場合があり、これが支障となって、保存が進んでいない場合もあります。</p> <p>ウ 景観と文化の関わりが整理されていない 景観がそれぞれの地域の文化と密接に関連しているにも関わらず、そのかかわりが十分整理・発信されておらず、文化全体の振興施策や活動とつながっていない場合があります。</p> <p>エ 復興のまちづくりにおいて、景観への配慮に対する余裕が少ない</p> <p style="margin-left: 20px;">東日本大震災津波により、沿岸部の市街地や集落の良好な景観の多くが破壊されてしまいました。復興まちづくりの現場では、生活再建や生業（なりわい）の再生などが最優先の課題とされる中で、景観への配慮に対する余裕が少ないというのが実情となっています。</p> <p>(2) 目指すべき理想の姿 さまざま寄せられた現状や課題、岩手の文化芸術の特徴等を踏まえ、景観で目指すべき理想の姿を次のとおり定めました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">歴史的、文化的な景観の価値が地域住民をはじめとして広く認識されている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域の文化の関わりが整理・発信され、地域の住民、団体、企業、行政等の総合的な文化振興活動につながっている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">保存・活用に関する各種公的支援制度等が十分に活用され、経費的な課題が保存の支障となっていない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">沿岸被災地において、地域の自然・歴史・文化等を背景とした景観が再生され、誇りと愛着を持てる「ふるさと」が形成されている。</div> <p>(3) 5年で達成すべき目標とその対策 目指すべき姿を念頭に、必要と考えられる実施可能な対策例を考え合わせ、今後5年で達成すべき目標を次のとおり設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【5年で達成すべき目標】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">代表的な景観について、その地域の文化との関わりが整理され、発信されていること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各地域における景観の保全について、住民や団体・関係機関等が一緒になった話し合いが行われ、共通認識が持たれていること。</div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【必要と考えられる主な対策例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域の文化の関わり等を総体的に整理・記録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">景観と地域文化を一体化してインターネット配信、各関係施設等への冊子配架</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岩手県文化芸術コーディネーターの活用 ○ 各地域での話し合いを企画・実施するサービスの強化</div> </div> </div>	<p>○ 震災の影響について追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 「ふるさと景観再生の手引き」（平成24年9月岩手県県土整備部都市計画課）より景観形成に関する現状を一部抜粋</p> <p>○ (1)に記載した震災の影響に関する事項に対応</p> <p>○ 文化芸術コーディネーターの設置【5年間の取組成果】</p> <p>○ 「現指針[旧]」の「必要と考えられる主な対策例」に記載されている「…サービスの提供」は、県文化芸術コーディネーターの設置とその役割を想定したものであり、県内4広域圏に当該コーディネーターが</p>

2 「Ⅳ 文化芸術の振興に向けての主な施策方向」の主な改訂概要

(1) 共通事項

- 4つの「主な施策方向」のキーワード（「彩る」「楽しむ」「育む」「つなぐ」）を削除（※第Ⅴ章においても同じ）
- 資料1記載の「指針改訂への追加・修正の観点」の各項目を反映

(2) 4つの「主な施策方向」における改訂事項等

【主な施策方向1】 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

- 「平泉の文化遺産」の普遍的価値・理念への理解、継承等のための情報発信について追記
- 情報発信のベクトルについて、外国を含めた県内外への視点を取り入れたこと
- 多様な情報発信手段の活用について追記
- 県立美術館・県立博物館自らの情報発信、蔵書等の情報提供・活用について追記 など

【主な施策方向2】 文化芸術と県民との交流支援体制の整備

- 県文化芸術コーディネーターの「設置」に関する事項を削除し、機能強化をメインとして追記
- 文化芸術関係者のアートマネジメント能力向上について追記
- 若者等が多く参加・鑑賞する文化芸術分野、ポップカルチャー等の振興について追記 など

【主な施策方向3】 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援

- 県民の「平泉の文化遺産」の価値等と郷土に対する誇り・愛着の醸成・伝承について追記
- 震災により被災した文化芸術の人・もの・活動等に対する支援について追記 など

【主な施策方向4】 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成

- 県文化芸術コーディネーターを核とした文化芸術活動支援ネットワークの形成とコーディネートサービスについて追記 など

(3) 各活動主体の役割

- 県文化芸術コーディネーターの設置に係る（文章の）所要の整備

2 「IV 文化芸術の振興に向けての主な施策方向」

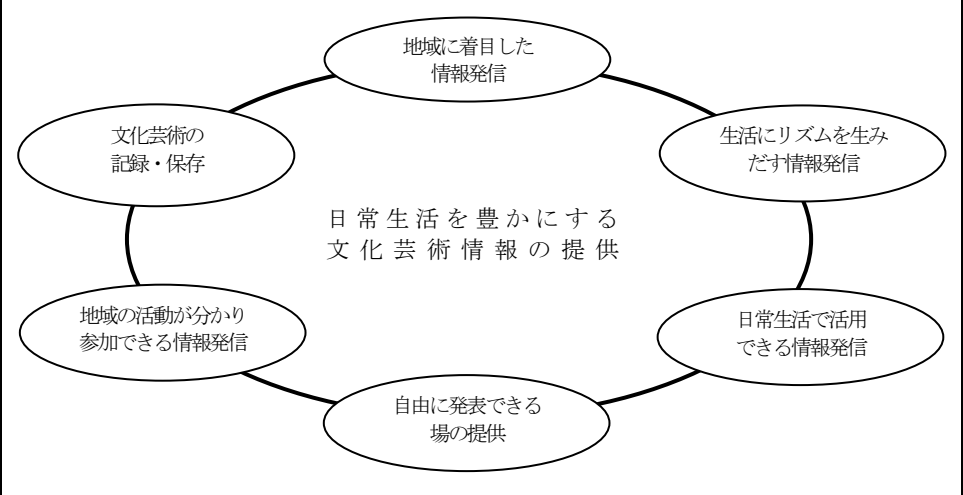
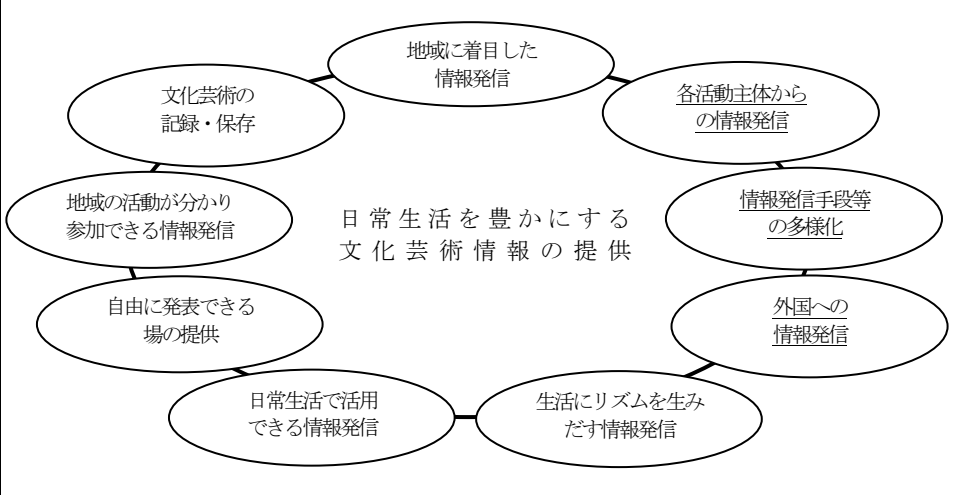
※ 下線は、改訂部分であること。

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>IV 文化芸術の振興に向けての主な施策方向 前章では、文化芸術の各分野の課題とその解決に向けた対策例を述べました。 もとより、現在生じている各課題に個別に対応していくことも重要ですが、各分野にまたがるような課題、似たような課題が多くみられます。 県民のみなさんに岩手の豊かな文化芸術を感じていただき、他の人々や次の世代に伝え、更に発展充実させていく「文化芸術とともに生きる地域社会」を形成するためには、各分野が抱える個々の課題に個別に対応していくのではなく、各分野で発生している課題の共通する事項を捉えた上で、それに対処する施策の方向を定め、これに基づいた一貫した考え方の下、各対策が連動し合い、より大きな成果を生むようにすることが重要であると考えます。</p> <p>従って、この章では、前章の目指すべき姿、現状、対策例を踏まえ、今後実施されるべき各種対策の基本となるべき主な施策方向を定めています。</p> <p>1 文化芸術の一層の振興を図るためのポイント 前章で述べた各分野の課題や主な対策例を、その共通性、関連性で捉え直してみると、「豊かさを感じ伝える国“いわて”」を実現していくためには、「文化芸術を知ってもらうための情報発信の一層の充実」、「優れた文化芸術に直接触れ、新たに取り組む機会の創出」、「文化芸術による豊かさの涵養と公共的支援の一層の充実」及び「社会全体で文化芸術を支援する人的ネットワークの形成」の4つをポイントとして捉えることができます。 この4つのポイントを整理すると次のとおりとなります。</p> <p>(1) 県民の方々への文化芸術の魅力の日常的な発信 <u>キーワード＝「彩る」</u></p> <p>このポイントは、県民の方々日々の生活の中で、県内やそれぞれの地域の文化芸術の魅力を感じることができる機会を確保しようとすることとしてまとめることができます。</p> <p>もとより、直接、文化芸術に触れることが大切であることはもちろんですが、それを補うものとして、普段の生活の中で文化芸術の一端に触れる機会を作り出すことも必要と考えます。 <u>この主眼で大切なのは、日常的な触れる機会を作り出すとともに、それによって、日常生活の中でヒントを見つけていただき、日々の暮らしに文化芸術によって「彩り」を加えていただくことだと考えます。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」 ○ 楽しんで使えるインターネット配信・各地図書館への配架 等</p> </div> <p style="text-align: right;">主な施策の方向(1)</p>	<p>IV 文化芸術の振興に向けての主な施策方向 前章では、文化芸術の各分野の課題とその解決に向けた対策例を述べました。 もとより、現在生じている各課題に個別に対応していくことも重要ですが、各分野にまたがるような課題、似たような課題が多くみられます。 県民のみなさんに<u>平泉の文化遺産をはじめとした文化財やそれらに込められた理念などの</u>、岩手の豊かな文化芸術の価値について理解を深め、他の人々や次の世代に伝え、更に発展充実させていく「文化芸術とともに生きる地域社会」を形成するためには、各分野が抱える個々の課題に個別に対応していくのではなく、各分野で発生している課題の共通する事項を捉えた上で、それに対処する施策の方向を定め、これに基づいた一貫した考え方の下、各対策が連動し合い、より大きな成果を生むようにすることが重要であると考えます。</p> <p>従って、この章では、前章の目指すべき姿、現状、対策例を踏まえ、今後実施されるべき各種対策の基本となるべき主な施策方向を定めています。</p> <p>1 文化芸術の一層の振興を図るためのポイント 前章で述べた各分野の課題や主な対策例を、その共通性、関連性で捉え直してみると、「豊かさを感じ伝える国“いわて”」を実現していくためには、「文化芸術を知ってもらうための情報発信の一層の充実」、「優れた文化芸術に直接触れ、新たに取り組む機会の創出」、「文化芸術による豊かさの涵養と公共的支援の一層の充実」及び「社会全体で文化芸術を支援する人的ネットワークの形成」の4つをポイントとして捉えることができます。 この4つのポイントを整理すると次のとおりとなります。</p> <p>(1) 県内外の方々への文化芸術の魅力の日常的な発信</p> <p>このポイントは、県民の方々日々の生活の中で、県内やそれぞれの地域の文化芸術の魅力を感じることができる機会を確保しようとすることだけでなく、<u>外国を含む県内外の方々に対して本県の文化芸術情報発信を行い、その内容と魅力を理解していただくこと</u>としてまとめることができます。</p> <p>もとより、直接、文化芸術に触れることが大切であることはもちろんですが、それを補うものとして、普段の生活の中で文化芸術の一端に触れる機会や<u>本県の文化芸術を知っていただく機会</u>を作り出すことも必要と考えます。 <u>このポイントで大切なのは、本県の文化芸術を多くの方々に紹介する機会を作り出すとともに、その良さ・素晴らしさを理解し、見直していただくこと、また、様々な交流を生み出し地域振興に役立てていくこと</u>であると考えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」 ○ 楽しんで使えるインターネット配信・各関係施設への配架 等</p> </div> <p style="text-align: right;">主な施策方向(1)</p>	<p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 「県外への情報発信の強化」「国際化の時代における情報発信の位置づけをどうするか」といった審議会委員意見から、情報発信の対象を、「県民」から「県内外」に拡大【5年間の課題、委員意見】</p> <p>○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除(以下、「改訂案」の「(2)」～「(4)」においても同じ。)【委員意見】</p> <p>○ 「国際化の時代における情報発信の位置づけをどうするか」といった審議会委員意見を参考に、「外国を含む」の言葉を追記【委員意見】</p> <p>○ 情報発信の対象を、「県民」から「県内外」に拡大したことによる文章の整理</p> <p>○ 文章の整理</p> <p>○ キーワード削除に伴う修正、魅力発信の目的を整理</p> <p>○ III章の改訂に対応</p> <p>○ 「施策の方向」と「施策方向」と同じ意味をなす言葉が2つ存在することから「施策方向」に整理・統一(以下、「改訂案」の「(2)」</p>

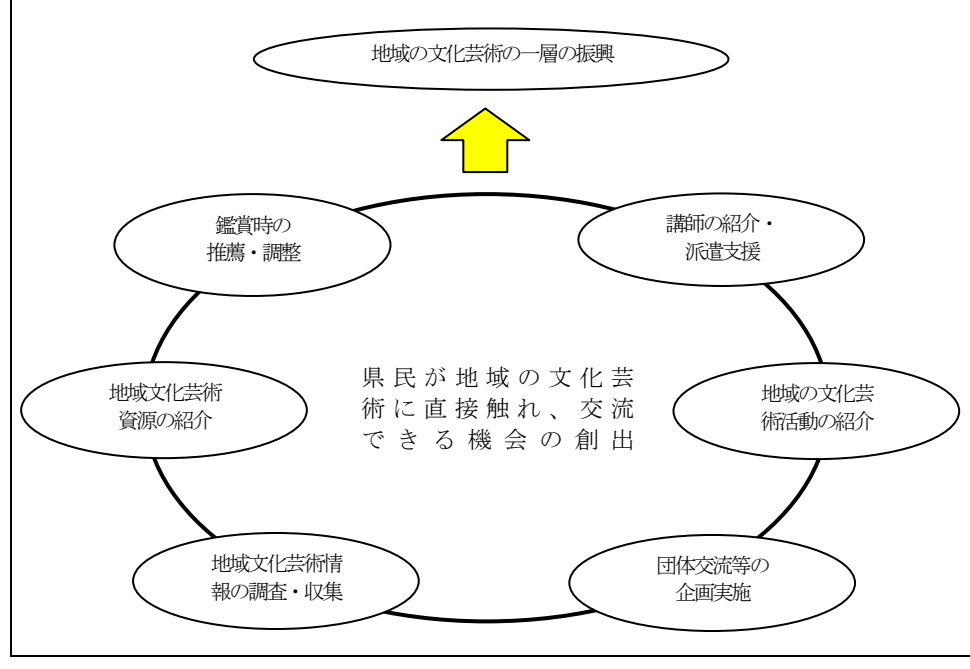
現行指針 [旧]		改訂案 [新]		理由・考え方・備考
<div data-bbox="290 216 819 390"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節毎の魅力の発信 ○ 参加実践方法の発信 ○ DVD保存 ○ 地域情報の発信 等 </div> <div data-bbox="290 422 819 527"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やり方の発信 ○ 参加方法の発信 等 </div> <div data-bbox="290 558 819 630"> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 景観と地域文化の総体的な発信 等 </div>	<div data-bbox="955 216 1222 527"> <p>日常生活を豊かにする 文化芸術情報の発信 ～彩る～</p> </div>	<div data-bbox="1359 216 1893 390"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節毎の魅力の発信 ○ 参加実践方法の発信 ○ 映像ファイル保存 ○ 地域情報の発信 等 </div> <div data-bbox="1359 422 1893 527"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やり方の発信 ○ 参加方法の発信 等 </div> <div data-bbox="1359 558 1893 630"> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 景観と地域文化の総体的な発信 等 </div>	<div data-bbox="2024 216 2291 527"> <p>日常生活を豊かにする 文化芸術情報の発信</p> </div>	<p>～「(4)」においても同じ。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ III章の改訂に対応
<p>(2) 県民が優れた文化芸術に直接触れ、新たに取り組む機会の創出 キーワード＝「楽しむ」</p> <p>このポイントは、県民の方々が優れた文化芸術に直接触れる機会を創り出し、その素晴らしさに感動していただくことと、その感動の下、新たに活動しようとしている方等を支援していくこととをまとめることができます。</p> <p>また、新たな活動を始めようとする活動者や地域おこしのために文化芸術資源を活用しようとする方々を支援することも必要と考えます。</p> <p>このポイントで大切なのは、鑑賞しようとする方や活動しようとする方々に対して、深い文化芸術の知識や経験を下に適切な助言や支援を行うことによって、「楽しんで」鑑賞・活動し続けてもらうことだと考えます。</p>		<p>(2) 県民が優れた文化芸術に直接触れ、新たに取り組む機会の創出</p> <p>このポイントは、県民の方々が優れた文化芸術に直接触れる機会を創り出し、その素晴らしさに感動していただくことと、その感動の下、新たに活動しようとしている方等を支援していくこととをまとめることができます。</p> <p>また、新たな活動を始めようとする活動者や地域おこしのために文化芸術資源を活用しようとする方々を支援することも必要と考えます。</p> <p>このポイントで大切なのは、鑑賞しようとする方や活動しようとする方々に対して、深い文化芸術の知識や経験を下に適切な助言や支援を行うことによって、<u>鑑賞する側と活動する側双方のニーズをマッチングさせ、地域の文化芸術がさらに発展していくこと</u>だと考えます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワード削除に伴う修正
<div data-bbox="290 1073 819 1178"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞への橋渡し窓口 ○ 新たな創造への相談体制整備 等 </div> <div data-bbox="290 1209 819 1314"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上演会等の調整サービス ○ 交流会等の企画実施サービス 等 </div> <div data-bbox="290 1346 819 1451"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表等の調整サービス ○ 交流会等の企画実施サービス 等 </div> <div data-bbox="290 1482 819 1587"> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通認識のための話し合い等の設定実施サービス 等 </div>	<p>主な施策の方向(2)</p> <div data-bbox="955 1209 1222 1451"> <p>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 ～楽しむ～</p> </div>	<div data-bbox="1359 1073 1893 1178"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞への橋渡し窓口 ○ 新たな創造への相談体制強化 等 </div> <div data-bbox="1359 1209 1893 1314"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上演会等の調整サービス ○ 交流会等の企画実施サービス 等 </div> <div data-bbox="1359 1346 1893 1451"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表等の調整サービス ○ 交流会等の企画実施サービス 等 </div> <div data-bbox="1359 1482 1893 1587"> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通認識のための話し合い等の設定実施サービス </div>	<p>主な施策方向(2)</p> <div data-bbox="2024 1209 2291 1451"> <p>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ III章の改訂に対応
<p>(3) 各段階における文化芸術による豊かさの涵養と公共的支援 キーワード＝「育む」</p> <p>このポイントは、文化芸術のもつ人づくりの力に着目して、幼少期から各段階に応じた鑑賞機会の確保と活動への公共的支援を行うことによって、県民の方々が感動や生きる喜びにあふれた豊かな生活を送れるよう支援していくこととをまとめることができます。</p> <p>特に、文化芸術の振興に果たす若い年代における学校の役割の大きさに十分に考慮するとともに、社会人になっても活動を続けていけるよう、各段階における適切な公共的支援策を講じる必要があると考えます。</p> <p>このポイントで大切なのは、地理的な条件によって鑑賞等の不利益を受けることがない</p>		<p>(3) 各段階における文化芸術による豊かさの涵養と公共的支援</p> <p>このポイントは、県民の方々が優れた文化芸術に直接触れる機会を創り出し、その素晴らしさに感動していただくことと、その感動の下、新たに活動しようとしている方等を支援していくこととをまとめることができます。</p> <p>特に、文化芸術の振興に果たす若い年代における学校の役割の大きさに十分に考慮するとともに、社会人になっても活動を続けていけるよう、各段階における適切な公共的支援策を講じる必要があると考えます。</p> <p>このポイントで大切なのは、地理的な条件によって鑑賞等の不利益を受けることがない</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワード削除に伴う修正

現行指針【旧】	改訂案【新】	理由・考え方・備考
<p>よう、また、全ての県民がその望む文化芸術活動を行い得るよう基礎的な環境を整備することによって、<u>豊かな文化芸術とともに生きる人材を「育む」</u>ことだと考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校鑑賞事業 ○ 文化活動、新進・若手芸術家支援 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>主な施策の方向(3)</p> <p>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 ～育む～</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表機会の確保 ○ 活動費等の公共的支援 ○ 団体交流支援 等 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動費等の公共的支援 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 ～育む～</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動費等の公共的支援 等 </div> </div> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の理解醸成と合意形成 等 	<p>よう、また、全ての県民がその望む文化芸術活動を行い得るよう基礎的な環境を整備することによって、<u>文化芸術を理解し、楽しみ、そして参加していく人材を育てていく</u>ことだと考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・県内各地域等での鑑賞事業 ○ 文化活動、新進・若手芸術家支援 ○ <u>震災により被災した活動者等への支援</u> 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>主な施策方向(3)</p> <p>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表機会の確保 ○ 活動費等の公共的支援 ○ 団体交流支援 ○ <u>震災により被災した活動者等への支援</u> 等 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動費等の公共的支援 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動費等の公共的支援 等 </div> </div> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の理解醸成と合意形成 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「施策方向(3)について、子どもたちを文化芸術の世界に「入り込ませる」(参加していく)視点が必要」といった審議会委員意見を参考に文章を修正【委員意見】 ○ III章の改訂に対応 ○ III章の改訂に対応 ○ III章の改訂に対応 ○ III章の改訂に対応
<p>(4) 社会全体で文化芸術活動を支援する人的ネットワークの形成 <u>キーワード=「つなぐ」</u></p> <p>このポイントは、社会全体が地域の文化芸術活動を支えていく体制を作り出し、地域の宝として、地域の文化芸術を守り育てていく体制を作り出していくこととしてまとめることができます。</p> <p>もとより、文化芸術活動は県民一人ひとりの自主性・創造性が基盤ですが、文化芸術の地域社会における価値や力を考えるとき、活動者や鑑賞者のみならず、地域の全ての力を結集して文化芸術を支援していくことが重要であると考えます。</p> <p>このポイントでは、文化芸術活動団体や地域の各種団体、企業、行政機関等をつなぐ機能を担う者(キーパーソン)の育成・確保と、その者が十分に活動できるような体制・システムづくりによって、文化芸術を支える団体や人々が「<u>つながって</u>」協働し、大きな効果を生み出せるようにすることが大切であると考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり ○ 活動支援風土づくり 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>主な施策の方向(4)</p> <p>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 ～つなぐ～</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり ○ 社会風土づくり 等 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり 等 </div> </div> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保全活動への支援橋渡しをする仕組みづくり 等 	<p>(4) 社会全体で文化芸術活動を支援する人的ネットワークの形成</p> <p>このポイントは、社会全体が地域の文化芸術活動を支えていく体制を作り出し、地域の宝として、地域の文化芸術を守り育てていく体制を作り出していくこととしてまとめることができます。</p> <p>もとより、文化芸術活動は県民一人ひとりの自主性・創造性が基盤ですが、文化芸術の地域社会における価値や力を考えるとき、活動者や鑑賞者のみならず、地域の全ての力を結集して文化芸術を支援していくことが重要であると考えます。</p> <p>このポイントでは、文化芸術活動団体や地域の各種団体、企業、行政機関等をつなぐ機能を担う者(キーパーソン)の育成・確保と、その者が十分に活動できるような体制・システムづくりによって、文化芸術を支える団体や人々が<u>連携・協働</u>し、大きな効果を生み出せるようにすることが大切であると考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>芸術・芸能分野 「感じる」・「支える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり ○ 活動支援風土づくり 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>主な施策方向(4)</p> <p>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>伝統文化分野 「伝える」・「参加する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり ○ 社会風土づくり 等 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり 等 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>生活文化分野 「尊ぶ」・「続ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援橋渡しをする仕組みづくり 等 </div> </div> <p>景観 「分かり合う」・「守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保全活動への支援橋渡しをする仕組みづくり ○ <u>住民の理解醸成と合意形成</u> 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワード削除に伴う修正 ○ III章の改訂に対応

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>2 主な施策の方向</p> <p>ここでは、岩手の文化芸術を更に振興し「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するために、前節で述べた4つのポイントを基に、条例で定めることとしている「<u>主な施策の方向</u>」の内容をまとめています。</p> <p>これらの方向性を基に、県民、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が一体となって岩手の文化芸術振興の取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>(1) 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>キーワード=「彩る」</u></p> <p>1) 趣旨</p> <p>文化芸術を振興するためには、<u>何より、県民のみなさんに文化芸術の魅力を伝えることが重要であると考えます。</u>もちろん、優れた公演や作品・文化財等を直接鑑賞していただくことが大切です。しかし、多くの優れた作品・文化財等を鑑賞していただくには難しい面もあり、また、鑑賞する契機となる施策の充実も必要と考えます。</p> <p>また、伝統文化の分野等では、さまざまな課題から広く知っていただく機会に恵まれていない例があるとともに、優れた技能を記録する必要性も訴えられています。</p> <p>従って、<u>県民の皆様が普段の生活で文化芸術に触れることができる機会を増やすとともに、日々の暮らしのヒントとなる情報発信、優れた技を擬似鑑賞できる情報発信を充実する必要があると考えます。</u></p> <p>2) 施策方向のポイント</p> <p>① 日常生活において鑑賞・活用できる文化芸術情報の発信の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品紹介等にとどまらず、地域の文化芸術全体を実感できる情報発信 ・ 日々の生活の参考となる季節・催事・地域行事等の歳時記的情報発信 ・ 日々の生活を豊かにする郷土料理レシピ等の活用できる情報発信 <p>② 自由に発表し、参加できる文化芸術情報の発信の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術活動家とその作品等を発信できる情報発信 ・ 地域の文化芸術活動団体等の活動状況の情報発信 <p>③ 現在の文化芸術を広く調査・記録・保存し、次代に残す資料整備</p> <p>④ 文化芸術情報のインターネットによる発信と各地域の<u>図書館</u>等への配架の併用等に</p>	<p>2 主な施策方向</p> <p>ここでは、岩手の文化芸術を更に振興し「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するために、前節で述べた4つのポイントを基に、条例で定めることとしている主な施策方向の内容をまとめています。</p> <p>これらの方向性を基に、県民、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が一体となって岩手の文化芸術振興の取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>(1) 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</p> <p>ア 趣旨</p> <p><u>平泉の世界文化遺産登録(平成23年)やテレビドラマ「あまちゃん」の放送(平成25年)による影響や効果を鑑みた場合、文化芸術を振興するためには、外国を含めた県内外に向けて文化芸術の魅力を伝えることが改めて重要であると考えます。</u>もちろん、優れた公演や作品・文化財等を直接鑑賞していただくことが大切です。しかし、多くの優れた作品・文化財等を鑑賞していただくには難しい面もあり、また、鑑賞する契機となる施策の充実も必要と考えます。</p> <p>また、伝統文化の分野等では、さまざまな課題から広く知っていただく機会に恵まれていない例があるとともに、<u>震災による記録の消失等の経験からも、優れた技能を記録する必要性も訴えられています。</u></p> <p>従って、<u>多くの方々が普段の生活で文化芸術に触れることができる機会を増やすとともに、日々の暮らしのヒントとなる情報発信、優れた技を擬似鑑賞できる情報発信、本県の文化芸術をまず「知ってもらう」・「見ってもらう」ための情報発信、昨今において多様化している情報発信手段・手法を充実させ、また、日本・世界における「岩手らしさ」といった本県のアイデンティティーの確立に向け、県全体としての総合的な文化芸術力の発信力、訴求力を強化していく必要があると考えます。</u></p> <p>イ 施策方向のポイント</p> <p>① 日常生活において鑑賞・活用できる文化芸術情報の発信の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品紹介等にとどまらず、地域の文化芸術全体を実感できる情報発信 ・ 日々の生活の参考となる季節・催事・地域行事等の歳時記的情報発信 ・ 日々の生活を豊かにする郷土料理レシピ等の活用できる情報発信 ・ <u>平泉の文化遺産の構成資産等及びその普遍的価値・理念について理解を深め、保全・継承活動等の促進につなげるための情報発信</u> <p>② 自由に発表し、参加できる文化芸術情報の発信の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術活動家とその作品等を発信できる情報発信 ・ 地域の文化芸術活動団体等の活動状況の情報発信 <p>③ 現在の文化芸術を広く調査・記録・保存し、次代に残す資料整備</p> <p>④ 文化芸術情報のインターネットによる発信と各地域の<u>関係施設</u>等への配架の併用等</p>	<p>○ 「施策の方向」と「施策方向」と同じ意味をなす言葉が2つ存在することから「施策方向」に整理・統一</p> <p>○ 「施策の方向」の語を「施策方向」に整理・統一するための整備</p> <p>○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除(以下、「改訂案」の「(2)」～「(4)」においても同じ。)【委員意見】</p> <p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」・「ウ」部分も同じ。)</p> <p>○ 「国際化の時代における情報発信の位置づけをどうするか」といった審議会委員意見を参考に、「外国を含む」の言葉を追記【委員意見】</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果、「あまちゃん」効果の追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 震災の影響について追記【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 情報発信の対象を、「県民」から「県内外」に拡大したことによる文章の整理</p> <p>○ 「情報発信手段の拡充」の課題から修正【5年間の課題】</p> <p>○ 「岩手らしさ・情報発信のあり方等も盛り込むべき」といった審議会委員意見を参考に追記【委員意見】</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】、県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>よる発信力の向上</p> <p>3) 内容</p>  <p>① 岩手の文化芸術を網羅し、見やすさ、分かりやすさに優れた情報のインターネット配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の文化芸術作品・情報、伝統文化等の網羅的提供 ・ 各地域の季節の行事・景観・衣食住・活動等の情報を歳時的に提供 ・ 各地域の伝統的な生活スタイル等の生活文化や実践方法の紹介 ・ 各地域で行われている文化芸術活動の成果発表の発信 ・ 各地域の景観やその景観が生み出された背景、他の文化との関わり等の紹介 ・ 公演、風景等の動画配信による擬似体験の提供 <p>② 伝統芸能・民俗芸能の優れた技・伝統的生活文化・文化財等の総合的調査・<u>DVD</u>化等による保存</p> <p>③ 上記情報の冊子化及び各地域の<u>図書館</u>等への配架、<u>マスメディア</u>の活用</p>	<p>よる発信力の向上</p> <p>⑤ <u>本県への誘客、震災復興のPR、国際文化交流の進展等を目的とした外国への情報発信</u></p> <p>⑥ <u>情報発信手段（ツール）・手法の多様化</u></p> <p>⑦ <u>文化施設、文化芸術団体など各活動主体からの情報発信力強化</u></p> <p>ウ 内容</p>  <p>① 岩手の文化芸術を網羅し、見やすさ、分かりやすさに優れた情報のインターネット配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の文化芸術作品・情報、伝統文化等の体系的・網羅的提供 ・ 各地域の季節の行事・景観・衣食住・活動等の情報を歳時的に提供 ・ 各地域の伝統的な生活スタイル等の生活文化や実践方法の紹介 ・ 各地域で行われている文化芸術活動の成果発表の発信 ・ 各地域の景観やその景観が生み出された背景、他の文化との関わり等の紹介 ・ 公演、風景等の動画配信による擬似体験の提供 <p>② 伝統芸能・民俗芸能の優れた技・伝統的生活文化・文化財等の総合的調査・<u>映像データベース</u>化等による保存</p> <p>③ 上記情報の冊子化及び各地域の<u>関係施設</u>等への配架</p> <p>④ <u>文化芸術に関するホームページの多言語化</u></p> <p>⑤ <u>海外における本県文化芸術の公演・展示などへの支援</u></p> <p>⑥ <u>SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画サイト、マスメディアなど多様な情報発信ツールの活用</u></p> <p>⑦ <u>県立美術館・県立博物館のホームページによる情報発信</u></p> <p>⑧ <u>県立美術館・県立博物館が保有する文化芸術・文化財等に関する蔵書等の情報の提供と活用</u></p>	<p>○ 県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 語句の整理</p> <p>○ 多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 県内外への情報発信力の強化、多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】、「国際化の時代における情報発信の位置づけをどうするか」といった審議会委員意見から追記【委員意見】</p> <p>○ 県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 多様化する情報発信手段等への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 多様化する情報発信手段（ツール）・手法への対応【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 美術館では平成26年度からHPで蔵書リストが閲覧可能。また、博物館HPでは研</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>(2) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備 キーワード=「楽しむ」</p> <p>1) 趣旨</p> <p>文化芸術を振興するためには、豊かな岩手の文化芸術に直接触れていただくことによって、その素晴らしさに感動していただくことが基盤になると考えます。もとより、各自が興味のある文化芸術を鑑賞されることが第一ですが、学校教育の一環としての文化芸術の鑑賞においても、岩手の優れた文化芸術の魅力を現在よりもより多く伝えていくことも大切であると考えます。</p> <p>また、発表する機会や他の団体との交流機会の不足に悩んでいる文化芸術団体等もあり、生活文化等を紹介する場が多くないのが現状です。</p> <p>一方、全国各地において優れた文化芸術を核とした地域振興を図る動きもあり、地域の文化芸術の振興にも大きく寄与すると考えられます。</p> <p>これらを改善するためには、県民など鑑賞する側と文化芸術を提供する側のそれぞれの希望とニーズをマッチングさせ、その橋渡しや交流の場を提案・設定できるサービスを提供する必要があると考えます。</p> <p>2) 施策方向のポイント</p> <p>① 県民や鑑賞団体等の希望に応じた文化芸術活動・作品を紹介するとともに、文化芸術活動者との間に立って鑑賞の実現をサポートする機能の提供</p> <p>② 地域の文化芸術団体等と他団体等との交流・発表機会を企画・立案し、実現する機能の提供</p> <p>③ 地域振興等のために、文化芸術家・団体の支援を受けようとする者に対し、地域の文化芸術活動者・団体等を紹介し、両者のニーズを調整する機能の提供</p> <p>3) 内容</p>	<p>(2) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備 ア 趣旨</p> <p>文化芸術を振興するためには、豊かな岩手の文化芸術に直接触れていただくことによって、その素晴らしさに感動していただくことが基盤になると考えます。もとより、各自が興味のある文化芸術を鑑賞されることが第一ですが、学校教育の一環としての文化芸術の鑑賞においても、岩手の優れた文化芸術の魅力を現在よりもより多く伝えていくことも大切であると考えます。</p> <p>また、発表する機会や他の団体との交流機会の不足に悩んでいる文化芸術団体等もあり、生活文化等を紹介する場が多くないのが現状です。</p> <p>一方、全国各地において優れた文化芸術を核とした地域振興を図る動きもあり、地域の文化芸術の振興にも大きく寄与すると考えられます。</p> <p>これらを改善するためには、県民など鑑賞する側と文化芸術を提供する側のそれぞれの希望とニーズをマッチングさせ、その橋渡しや交流の場を提案・設定できるサービスを提供する必要があると考えます。</p> <p><u>芸術の担い手（活動者）と支え手（鑑賞者）の両方を育てていくという観点から、県民の幅広い層における文化芸術の鑑賞機会の充実・拡大の取組を促進し、鑑賞者層の拡大と観賞力の向上を図っていくことが重要です。</u></p> <p>イ 施策方向のポイント</p> <p>① 県民や鑑賞団体等の希望に応じた文化芸術活動・作品を紹介するとともに、文化芸術活動者との間に立って鑑賞の実現をサポートする機能の強化</p> <p>② 地域の文化芸術団体等と他団体等との交流・発表機会を企画・立案し、実現する機能の強化</p> <p>③ 地域振興等のために、文化芸術家・団体の支援を受けようとする者に対し、地域の文化芸術活動者・団体等を紹介し、両者のニーズを調整する機能の強化</p> <p>④ <u>芸術そのものに精通するほか、マーケティング、会計、プロモーション、文化関連法規、企画・制作立案など、芸術の運営に必要な様々なことを熟知し、多様な専門領域で活動する地域人材の育成</u></p> <p>⑤ <u>予算、組織力等の理由により発表・鑑賞の場が少ない文化芸術のプロモーション</u></p> <p>ウ 内容</p>	<p>究報告が閲覧可能となっていることから追記。</p> <p>○ 見出し記号の整理（以下、「改訂案」の「イ」「ウ」部分も同じ。）</p> <p>○ 「現行指針は鑑賞者からの観点が弱い」といった県文化芸術コーディネーター意見を参考に、鑑賞者側の観点を追記【県文化芸術コーディネーター意見】</p> <p>○ 全広域圏への県文化芸術コーディネーターの配置に伴う表現の修正、県文化芸術コーディネーターの活用【5年間の取組成果、追加・修正の観点】による修正</p> <p>○ (同上)</p> <p>○ (同上)</p> <p>○ 「県民、鑑賞団体等のニーズ把握の強化が必要」といった審議会委員意見【委員意見】、「全県的なアートマネジメント能力の向上」といった県文化芸術コーディネーター意見【県文化芸術コーディネーター意見】、文化芸術業務の運営・企画能力を有する人材の育成【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 若者文化・新しい文化芸術分野への支援【追加・修正の観点】から追記</p>



① 文化芸術鑑賞・活動のアドバイス等を行うアドバイザーを各地域に設置

【アドバイザーの主な要件等】

- ・ 地域に密着したコーディネートを実現するとともに、細かなニーズに沿った対面相談を実現するため、広域単位等の設置を検討
- ・ アドバイザーは、地域の文化芸術活動家、文化芸術の知識を有する者、文化芸術団体関係者等を委嘱することを検討
- ・ 人的コネクションを活用したきめ細かで行き届いたサービスを可能とするため、長期の委嘱を検討
- ・ 最新の文化芸術の動向を的確に把握し、ニーズにこたえるため、行政等の支援機関において派遣研修等の機会を確保

② 地域の生活文化関係サークル活動等の立案・講師派遣等

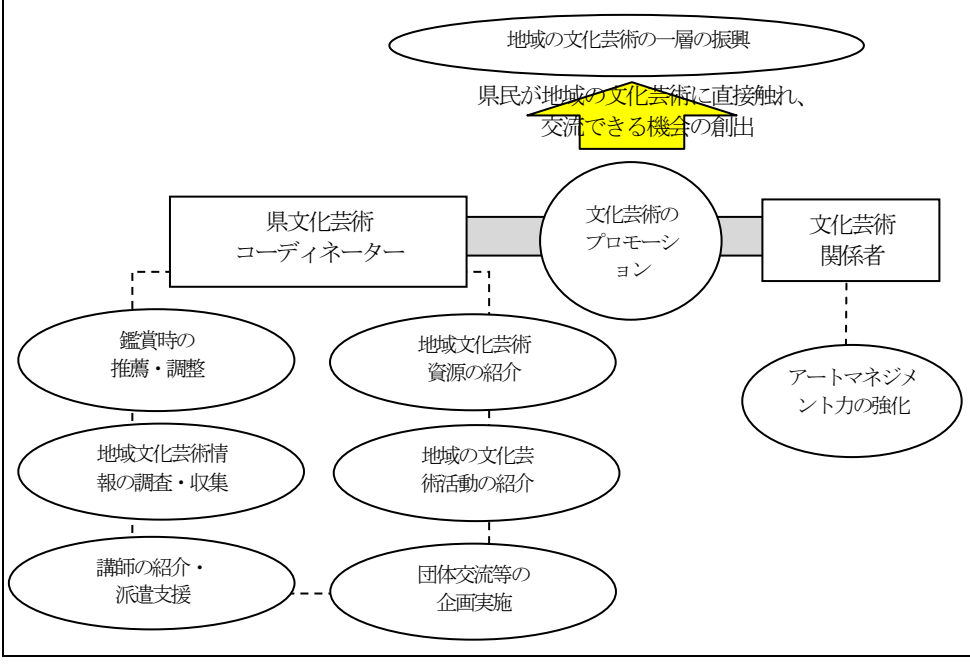
③ 文化芸術活動者やこれから始めようとする者からの創作活動・発表活動等の相談への対応

④ 地域振興の取組への文化芸術資源の活用へのアドバイス、橋渡し

⑤ 各地域の文化芸術団体・活動者等の把握・情報収集

⑥ 各地域における文化芸術団体・活動者等との定期的な情報交換会の開催

⑦ 各地域の文化芸術情報の収集及び発信



① 文化芸術鑑賞・活動のアドバイス等を行う「岩手県文化芸術コーディネーター」(盛岡・県南・沿岸・県北の各広域振興圏に配置済み。以下「県文化芸術コーディネーター」という。)の機能強化

【県文化芸術コーディネーターの主な役割等】

- ・ 地域に密着したコーディネートを実現するとともに、細かなニーズに沿った対面相談を実施

・ 地域の生活文化関係サークル活動等の立案・講師派遣等

・ 文化芸術活動者やこれから始めようとする者からの創作活動・発表活動等の相談への対応

・ 地域振興の取組への文化芸術資源の活用へのアドバイス、橋渡し

・ 各地域の文化芸術団体・活動者等の把握・情報収集

・ 各地域における文化芸術団体・活動者等との定期的な情報交換会の開催

・ 各地域の文化芸術情報の収集及び発信

② 文化芸術に関係する人々を対象としたアートマネジメント研修の開催

○ 全広域圏への県文化芸術コーディネーターの配置に伴う表現の修正【5年間の取組成果】

○ 全広域圏への県文化芸術コーディネーターの配置に伴い削除【5年間の取組成果】

○ (同上)

○ (同上)

○ 全広域圏への県文化芸術コーディネーターの配置【5年間の取組成果】、県文化芸術コーディネーターの活用【追加・修正の観点】による修正

○ (同上)

○ (同上)

○ (同上)

○ (同上)

○ 「県民、鑑賞団体等のニーズ把握の強化が必要」といった審議会委員意見【委員意見】、「全県的なアートマネジメント能力の向上」といった県文化芸術コーディネーター意見【県文化芸術コーディネーター意見】、文化芸術業務の運営・企画能力を有する人材の育成【追加・修正の観点】による追記

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>(3) 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 キーワード＝「育む」</p> <p><u>1) 趣旨</u></p> <p>文化芸術には、人々に楽しさや感動、心の安らぎや生きる喜びをもたらす力があるとされています。幼少期から優れた文化芸術に触れ、豊かな情操を養い、創造性を育み、個性を伸ばすことは、豊かな人間性を育むことにもつながります。</p> <p>また、文化芸術は、一人ひとりの独創的発想や活発で意欲的な創造活動から生まれるものですが、そのためには個人や団体の文化芸術活動を支援する環境をさらに整える必要があります。</p> <p>豊かな創造性の涵養と人材育成に力を注ぐとともに、県民がより文化芸術活動に参加しやすい環境を整備することによって、県民それぞれが感動や生きる喜びにあふれた生活を過ごせる「豊かさを感じ伝える國「いわて」」の実現を目指したいと考えます。</p> <p><u>2) 施策方向のポイント</u></p> <p>① 豊かな情操を幼少期から育むとともに、次代を担う中学生・高校生の文化活動や新進・若手芸術家等の活動を支援することによる人材育成</p> <p>② 県民がより身近に文化芸術を鑑賞できる機会を確保するとともに、文化芸術活動の創造と発表の場を確保するなど、県民がさらに文化芸術活動に参加しやすい環境の整備</p> <p>③ 伝統文化を保存継承していくための発表や交流の機会を確保することによる、人材の育成と地域コミュニティの活性化促進</p> <p><u>3) 内容</u></p>	<p>③ <u>若者等が多く参加・鑑賞する文化芸術分野、ポップカルチャー等に関するコンテスト、発表会、コンサート等の開催</u></p> <p>(3) 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</p> <p><u>ア 趣旨</u></p> <p>文化芸術には、人々に楽しさや感動、心の安らぎや生きる喜びをもたらす力があるとされています。幼少期から優れた文化芸術に触れ、豊かな情操を養い、創造性を育み、個性を伸ばすことは、豊かな人間性を育むことにもつながります。</p> <p><u>特に本県には、古来より自然や歴史・風土にはぐくまれ、先人たちが培ってきた多くの豊かな文化芸術があり、幼い頃よりその魅力に触れ、理解することは、誇りと希望を与えると同時に、人と人の心の絆を結び、心を癒す大きな力となり、地域を愛する心の醸成と震災復興・発展に必要不可欠なものと考えます。</u></p> <p>また、文化芸術は、一人ひとりの独創的発想や活発で意欲的な創造活動から生まれるものですが、そのためには個人や団体の文化芸術活動を支援する環境をさらに整える必要があります。</p> <p>豊かな創造性の涵養と人材育成に力を注ぐとともに、県民がより文化芸術活動に参加しやすい環境を整備することによって、県民それぞれが感動や生きる喜びにあふれた生活を過ごせる「豊かさを感じ伝える國「いわて」」の実現を目指したいと考えます。</p> <p><u>イ 施策方向のポイント</u></p> <p>① 豊かな情操を幼少期から育むとともに、次代を担う中学生・高校生の文化活動や新進・若手芸術家等の活動を支援することによる人材育成</p> <p>② 県民がより身近に文化芸術を鑑賞できる機会を確保するとともに、文化芸術活動の創造と発表の場を確保するなど、県民がさらに文化芸術活動に参加しやすい環境の整備</p> <p>③ 伝統文化を保存継承していくための発表や交流の機会を確保することによる、人材の育成と地域コミュニティの活性化促進</p> <p>④ <u>世界遺産としての「平泉の文化遺産」の価値や保存管理に対する県民等の理解と関心が深まることにより、郷土に対する誇りや愛着が醸成されるとともに、将来にわたり遺産を確実に守り伝えるための基盤の確立</u></p> <p><u>ウ 内容</u></p>	<p>○ 若者文化・新しい文化芸術分野への支援【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 見出し記号の整理（以下、「改訂案」の「イ」「ウ」部分も同じ。）</p> <p>○ 「幼少時より文化芸術に触れることが重要」という審議会委員の意見を参考に追記【委員意見】</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>① 文化振興基金の活用による支援</p> <p>② 学校教育等における優れた文化芸術鑑賞事業の実施</p> <p>③ 高等学校文化活動支援事業をはじめとした、中学生・高校生の文化活動支援</p> <p>④ 新進・若手芸術家等の創作活動支援</p> <p>⑤ 県立生涯学習推進センターによる後継者育成等のための研修事業の実施や文化芸術関連情報の提供</p> <p>⑥ 地理的条件に恵まれない地域での文化芸術鑑賞事業の実施</p> <p>⑦ 岩手芸術祭開催事業や国民文化祭参加推進事業などによる、県内及び全国への文化芸術活動発表の場の確保</p> <p>⑧ 学校教育（小学校～高等学校）における伝統文化の継承への取組の支援</p> <p>⑨ 地域の伝承活動を促進するための発表や交流機会の提供</p> <p>⑩ 民俗芸能団体のネットワークによる情報の交流と共有化</p> <p>⑪ 伝統文化を活用する人材育成等による地域づくりへの支援</p>	<p>① 文化活動の成果発表や文化団体備品整備への助成など文化振興基金の活用による支援</p> <p>② 学校教育等における優れた文化芸術鑑賞事業の実施</p> <p>③ 高校生文化活動支援事業をはじめとした、中学生・高校生の文化活動支援</p> <p>④ 中学生・高校生等へ海外の優れた芸術作品についての学習機会の提供</p> <p>⑤ 新進・若手芸術家等の創作活動支援</p> <p>[削除]</p> <p>⑥ 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施</p> <p>⑦ 地理的条件に恵まれない地域での文化芸術鑑賞事業の実施</p> <p>⑧ 岩手芸術祭開催事業や国民文化祭参加推進事業などによる、県内及び全国への文化芸術活動発表の場の確保</p> <p>⑨ 学校教育（小学校～高等学校）における伝統文化の継承への取組の支援</p> <p>⑩ 全県的な民俗芸能団体の活動発表の場の提供</p> <p>⑪ 民俗芸能団体のネットワークによる情報の交流と共有化</p> <p>⑫ 伝統文化を活用する人材育成等による地域づくりへの支援</p> <p>⑬ 「平泉の文化遺産」の理念や価値の次世代への確実な伝達</p> <p>⑭ 震災により被災した美術作品や文化財の修復</p> <p>⑮ 震災により被災した文化芸術団体に対する道具・用具等の修復、イベント開催等に関する支援</p> <p>⑯ 震災復興や文化交流等を目的とした国内外の著名芸術家による演奏会、展示会、ワークショップ等の県内開催支援</p>	<p>○ 基金事業の具体例が分るように追記</p> <p>○ 事業名の修正</p> <p>○ 子ども・若者の「感動する・活躍する」機会の提供【追加・修正の観点】、新規事業実施により追記</p> <p>○ 県立生涯学習推進センターの分掌に事業がないことから削除</p> <p>○ 子ども・若者の「感動する・活躍する」機会の提供【追加・修正の観点】による追記、「芸術選奨・美術選奨事業」について追記</p> <p>○ 伝統・生活文化の次世代への確実な継承【追加・修正の観点】及び事業内容に合わせて修正</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】</p> <p>○ 被災地における文化芸術復旧の支援【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 被災地における文化芸術復旧の支援【追加・修正の観点】による追記、県・文化振興事業団事業にあることから追記</p> <p>○ 子ども・若者の「感動する・活躍する」機会の提供【追加・修正の観点】による追記、</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>(4) 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>～つなぐ～</u></p> <p>1) 趣旨</p> <p>文化芸術は、本来、県民一人ひとりの自主性及び創造性を基盤とするものですが、条例で明らかにしているように、その意義を考えたとき、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が一体となって、その活動を推奨し、支援し、活性化を図ることが極めて重要であると考えます。</p> <p>しかしながら、各分野の現状と課題で述べたように、各活動者・団体や県民が多くの課題を抱えている一方、それらを支援できる潜在的な力も十分に活用されていないと考えられます。</p> <p>従って、文化芸術を振興する上で、必要とする者と支えようとする者のマッチング、相互連携による機能強化等の基盤となる人的ネットワークを形成していく必要があると考えます。</p> <p>2) 施策方向のポイント</p> <p>① 文化芸術活動者がその活動で必要とする支援をタイムリーに提供されるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行い得るネットワーク作り</p> <p>② 活用可能な支援資源を網羅的に把握し、支援要請の内容や状況に合わせて、適宜最良の支援を実現できる総合的調整サービスの提供</p> <p>③ 文化芸術活動に関し、どのようなことでも気軽に相談できる、相互に顔が見える相談サービスの提供</p> <p>④ <u>関係する専門知識と人的ネットワークを有し、行政、企業、関係機関等との調整が円滑迅速に達成できる人材によるコーディネートサービスの提供</u></p> <p>3) 内容</p>	<p>(4) 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</p> <p>ア 趣旨</p> <p>文化芸術は、本来、県民一人ひとりの自主性及び創造性を基盤とするものですが、条例で明らかにしているように、その意義を考えたとき、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が一体となって、その活動を推奨し、支援し、活性化を図ることが極めて重要であると考えます。</p> <p>しかしながら、各分野の現状と課題で述べたように、各活動者・団体や県民が多くの課題を抱えている一方、それらを支援できる潜在的な力も十分に活用されていないと考えられます。</p> <p>従って、文化芸術を振興する上で、<u>支援を必要とする者と支えようとする者のマッチング</u>、相互連携による機能強化等の基盤となる人的ネットワークを形成し、<u>その機能を強化</u>していく必要があると考えます。</p> <p>イ 施策方向のポイント</p> <p>① 文化芸術活動者がその活動で必要とする支援をタイムリーに提供されるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行い得るネットワーク作り</p> <p>② 活用可能な支援資源を網羅的に把握し、支援要請の内容や状況に合わせて、適宜最良の支援を実現できる総合的調整サービスの提供</p> <p>③ 文化芸術活動に関し、どのようなことでも気軽に相談できる、相互に顔が見える相談サービスの提供</p> <p>④ <u>県文化芸術コーディネーターによるコーディネートサービスの提供</u></p> <p>ウ 内容</p>	<p>県事業にあることから追記</p> <p>○ 見出し記号の整理（以下、「改訂案」の「イ」「ウ」部分も同じ。）</p> <p>○ 文化芸術活動支援ネットワークの形成【5年間の課題】</p> <p>○ 県文化芸術コーディネーターを核とした文化芸術活動支援ネットワークの形成を目指すもの【5年間の取組成果、追加・修正の観点】</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
		<p>○ 県文化芸術コーディネーターを核とした文化芸術活動支援ネットワークの形成を目指すもの【5年間の取組成果、追加・修正の観点】</p>
<p>① 活動団体等が必要とする支援をいつでも登録・発信できる受付体制・登録体制の整備</p> <p>② 活動団体等が、発表や参加勧誘等の活動情報発信を自由に行える場の提供</p> <p>③ 文化芸術活動を支援できる者(団体、施設、企業、行政機関など)が、その支援の内容等を登録できる体制及びそれに応じ活動団体等が申し込むことができる体制の整備</p> <p>④ 文化関係施設間内、文化芸術団体間内、行政機関間内等の各関係者内部の一層の連携・情報交換ができる情報共有・連携基盤の整備</p> <p>⑤ 活動団体・関係者をつなぎ、調整するサービスの提供(サービス提供者の設定及び育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする者と支えようとする者をつなぎ、調整するサービスの提供 企業のメセナ活動を支援し、紹介するサービスの提供 活動団体等が必要とする公的機関への要望等を関係機関・施設、行政機関につなぎ、提案・実現するサービスの提供 <p>⑥ 上記の諸情報やサービス内容を一元的に管理・登録・発信できるインターネットベースのシステム整備</p> <p>3 県民が一体となった文化芸術の振興</p> <p>前節で4つの主な施策方向を示しましたが、これらを着実に実施し、「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するためには、県民、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が互いに連携・協力し合い、一体となって岩手の文化芸術振興に取り組んでいくことが重要と考えます。</p> <p>このため、県は、関係部門が一体となって岩手県文化芸術振興基本条例に定める責務を十分に果たすとともに、関係者がそれぞれに期待される役割を担えるよう十分な支援を行っていくことが必要と考えます。</p> <p>○ 文化芸術活動団体の主な役割</p> <p>本県や各地域における文化芸術活動・創造の中心として、会員の文化芸術活動の支援や</p>	<p>① 活動団体等が必要とする支援をいつでも登録・発信できる受付体制・登録体制の整備</p> <p>② 活動団体等が、発表や参加勧誘等の活動情報発信を自由に行える場の提供</p> <p>③ 文化芸術活動を支援できる者(団体、施設、企業、行政機関など)が、その支援の内容等を登録できる体制及びそれに応じ活動団体等が申し込むことができる体制の整備</p> <p>④ 文化関係施設間内、文化芸術団体間内、行政機関間内等の各関係者内部の一層の連携・情報交換ができる情報共有・連携基盤の整備</p> <p>⑤ 活動団体・関係者をつなぎ、調整するサービスの提供(サービス提供者の設定及び育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする者と支えようとする者をつなぎ、調整するサービスの提供 企業のメセナ活動を支援し、紹介するサービスの提供 活動団体等が必要とする公的機関への要望等を関係機関・施設、行政機関につなぎ、提案・実現するサービスの提供 <p>⑥ 上記の諸情報やサービス内容を一元的に管理・登録・発信できるインターネットベースのシステム整備</p> <p>3 県民が一体となった文化芸術の振興</p> <p>前節で4つの主な施策方向を示しましたが、これらを着実に実施し、「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するためには、県民、団体、企業、関係機関・施設、行政機関等が互いに連携・協力し合い、一体となって岩手の文化芸術振興に取り組んでいくことが重要と考えます。</p> <p>このため、県は、関係部門が一体となって岩手県文化芸術振興基本条例に定める責務を十分に果たすとともに、関係者がそれぞれに期待される役割を担えるよう十分な支援を行っていくことが必要と考えます。</p> <p>(1) 文化芸術活動団体の主な役割</p> <p>本県や各地域における文化芸術活動・創造の中心として、会員の文化芸術活動の支援や</p>	<p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「(2)」～「(8)」部分も同じ。)</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考																				
<p>県民に対する鑑賞機会の提供、講師派遣等により、本県文化芸術の振興の牽引役として更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザー適任者の推薦 アドバイザーへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援 </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー適任者の推薦 アドバイザーへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援 	<p>県民に対する鑑賞機会の提供、講師派遣等により、本県文化芸術の振興の牽引役として更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> [削除] 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援(ネットワークの中心的役割) </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> [削除] 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援(ネットワークの中心的役割) 	<p>○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除(以下、「改訂案」の「(2)」～「(8)」部分の表においても同じ。)【委員意見】</p> <p>○ 県文化芸術コーディネーター設置に伴う所要の整備(以下、「改訂案」の「(2)」～「(8)」部分の表においても同じ。)【5年間の取組成果】</p>
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー適任者の推薦 アドバイザーへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援 																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 発表会・展示会情報の発信 団体等活動状況・参加方法等の発信 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> [削除] 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 講師派遣協力 制度の周知普及への協力 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動状況や参加方法の発信 学校、地域等の文化活動に対する講師派遣協力 学校との連携による伝統文化の継承・発展の取組 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> コーディネート活動の周知普及 支援希望活動者の橋渡し コーディネート活動への協力・支援(ネットワークの中心的役割) 																					
<p>○ 地域(地域住民)の主な役割</p> <p>各地域の文化芸術を支え伝承していく最も基盤的な集団として、地域文化を担い、人々が協力して取り組む活動や景観保全活動の主体となることを期待します。</p> <p>また、生活文化の多くが家庭や地域における日常生活に根ざしていることから、地域が、その実践、伝承及び活用に更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーへの情報提供・支援 町内会活動等におけるアドバイザーの活用 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーへの情報提供・支援 町内会活動等におけるアドバイザーの活用 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 	<p>(2) 地域(地域住民)の主な役割</p> <p>各地域の文化芸術を支え伝承していく最も基盤的な集団として、地域文化を担い、人々が協力して取り組む活動や景観保全活動の主体となることを期待します。</p> <p>また、生活文化の多くが家庭や地域における日常生活に根ざしていることから、地域が、その実践、伝承及び活用に更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 地域における県文化芸術コーディネーターの活用 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 地域における県文化芸術コーディネーターの活用 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 	
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーへの情報提供・支援 町内会活動等におけるアドバイザーの活用 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 地域伝統行事・催事等の発信 公民館活動等の発信 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 地域における県文化芸術コーディネーターの活用 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動に対する積極的参加 地域の文化を地域や家庭において継承・発展させる取組 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動時における活用推奨 地域にある支援資源の登録・発信 コーディネート活動への協力 																					
<p>○ 民間団体等の主な役割</p> <p>地域にはさまざまな民間団体等があり、これらの団体の中には文化芸術活動を支援したり、地域振興のために文化芸術を活用しようというものがあります。これらの団体が、文</p>	<p>(3) 民間団体等の主な役割</p> <p>地域にはさまざまな民間団体等があり、これらの団体の中には文化芸術活動を支援したり、地域振興のために文化芸術を活用しようというものがあります。これらの団体が、文</p>																					

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考																				
<p>化芸術活動家・団体や行政、企業、県民等とのネットワークを強め、活動を活発化させることによって、地域の文化芸術の活性化に更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u></td> <td>・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u></td> <td>・ <u>アドバイザー適任者の推薦</u> ・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する<u>アドバイザー活動</u>への協力 ・ 制度の周知普及への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u></td> <td>・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u></td> <td>・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u>への協力・支援</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u>	・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u>	・ <u>アドバイザー適任者の推薦</u> ・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する <u>アドバイザー活動</u> への協力 ・ 制度の周知普及への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u>	・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u> への協力・支援	<p>化芸術活動家・団体や行政、企業、県民等とのネットワークを強め、活動を活発化させることによって、地域の文化芸術の活性化に更に大きな役割を果たすことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td>・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td>・ <u>〔削除〕</u> ・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する<u>県文化芸術コーディネーター活動</u>への協力 ・ 制度の周知普及への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td>・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td>・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u>への協力・支援</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ <u>〔削除〕</u> ・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する <u>県文化芸術コーディネーター活動</u> への協力 ・ 制度の周知普及への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u> への協力・支援	
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u>	・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u>	・ <u>アドバイザー適任者の推薦</u> ・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する <u>アドバイザー活動</u> への協力 ・ 制度の周知普及への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u>	・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u> への協力・支援																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 地域イベント・サークル等の紹介・情報提供																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ <u>〔削除〕</u> ・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 県民に対する <u>県文化芸術コーディネーター活動</u> への協力 ・ 制度の周知普及への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 優れた文化芸術活動の発信・支援 ・ 地域の伝統文化の発信・支援																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 把握している支援資源の情報提供・登録 ・ 支援可能資源の情報提供・把握 ・ <u>コーディネート活動</u> への協力・支援																					
<p>○ 学校・教育機関等の主な役割</p> <p>豊かな人間性を育む場として、授業やクラブ活動における指導等を通じ、文化芸術への興味を喚起し積極的な活動を助長することによって、児童生徒の豊かな情操を養い、創造性を高めひいては人間性の涵養に一層貢献していくことを期待します。</p> <p>また、学校を始めとする教育機関が地域との連携をより深め、積極的に協働することにより、地域の文化芸術の伝承に更に大きな役割を果たしていくことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u></td> <td>・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u></td> <td>・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における<u>アドバイザーの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u></td> <td>・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u></td> <td>・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u>の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u>	・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u>	・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における <u>アドバイザーの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u>	・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u> の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等	<p>(4) 学校・教育機関等の主な役割</p> <p>豊かな人間性を育む場として、授業やクラブ活動における指導等を通じ、文化芸術への興味を喚起し積極的な活動を助長することによって、児童生徒の豊かな情操を養い、創造性を高めひいては人間性の涵養に一層貢献していくことを期待します。</p> <p>また、学校を始めとする教育機関が地域との連携をより深め、積極的に協働することにより、地域の文化芸術の伝承に更に大きな役割を果たしていくことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td>・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td>・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における<u>県文化芸術コーディネーターの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td>・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td>・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u>の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における <u>県文化芸術コーディネーターの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u> の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等	
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u>	・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u>	・ <u>アドバイザーへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における <u>アドバイザーの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u>	・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u> の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 学校イベントやクラブ活動等の情報発信 ・ 授業等における地域文化芸術情報活用																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ <u>県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援</u> ・ 芸術鑑賞における <u>県文化芸術コーディネーターの活用</u> ・ 児童生徒等に対する支援活動への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 文化芸術鑑賞の機会の拡充 ・ 児童生徒の文化芸術活動の指導及び支援 ・ 教育を通じて地域の伝統文化を継承・発展させる取組 ・ 地域や文化芸術団体への理解と協力																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 学校・教育機関等における活動支援資源の情報提供・登録 ・ <u>コーディネート活動</u> の周知普及・活動協力 ・ 伝統文化伝承活動やクラブ活動時における活用推奨 ・ 文化芸術活動の推奨等																					

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考																				
<p>○ 企業等の主な役割 従業員や関係者の文化芸術活動や地域活動への参加支援・配慮等を通じ、地域の文化芸術活動に寄与することを期待するとともに、メセナ活動等を中心とする企業等の社会貢献活動を通じ、地域の文化芸術の振興に一層貢献していくことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1" data-bbox="296 394 1199 968"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」</td> <td>・ 企業内クラブ活動等の発信推奨</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」</td> <td>・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」</td> <td>・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」</td> <td>・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	・ 企業内クラブ活動等の発信推奨	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等	<p>(5) 企業等の主な役割 従業員や関係者の文化芸術活動や地域活動への参加支援・配慮等を通じ、地域の文化芸術活動に寄与することを期待するとともに、メセナ活動等を中心とする企業等の社会貢献活動を通じ、地域の文化芸術の振興に一層貢献していくことを期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1" data-bbox="1389 394 2291 968"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td>・ 企業内クラブ活動等の発信推奨</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td>・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td>・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td>・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等 ・ コーディネート活動への協力・支援</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 企業内クラブ活動等の発信推奨	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等 ・ コーディネート活動への協力・支援	<p>○ 文化芸術活動支援ネットワークへの参画が期待される主体であるため追記</p>
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	・ 企業内クラブ活動等の発信推奨																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ 企業内クラブ活動等の発信推奨																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 保有する文化芸術支援資源情報の提供 ・ 従業員等に対する支援活動への協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 従業員等の文化芸術活動に対する理解と支援 ・ 地域の文化芸術活動への支援・協力																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	・ 保有する支援資源の登録 ・ 支援依頼への的確な応答 ・ 従業員等の文化芸術活動に対する就業的な配慮等 ・ コーディネート活動への協力・支援																					
<p>○ 文化施設等の主な役割 文化芸術活動の中核的な施設として、文化施設相互間や行政・民間団体等とのネットワークの強化により、文化芸術活動者や県民にとってより利便性の高いサービスを提供することを期待するとともに、文化芸術情報が集積発信される拠点としての機能の一層の充実を期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1" data-bbox="296 1220 1199 1869"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」</td> <td>・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」</td> <td>・ アドバイザー適任者の推薦 ・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設におけるアドバイザー活動への協力 ・ 制度の周知普及協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」</td> <td>・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援す</td> <td>・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	・ アドバイザー適任者の推薦 ・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設におけるアドバイザー活動への協力 ・ 制度の周知普及協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供	文化芸術活動の担い手を支援す	・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録	<p>(6) 文化施設等の主な役割 文化芸術活動の中核的な施設として、文化施設相互間や行政・民間団体・文化芸術団体等とのネットワークの強化により、文化芸術活動者や県民にとってより利便性の高いサービスを提供することを期待するとともに、文化芸術情報が集積発信される拠点としての役割や地域の発展を支える機能の一層の充実を期待します。</p> <p>【指針の目標を達成するための主な役割の例】</p> <table border="1" data-bbox="1389 1220 2291 1869"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td>・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 県・市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨</td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td>・ [削除] ・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設における県文化芸術コーディネーター活動への協力 ・ 制度の周知普及協力</td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td>・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供</td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援す</td> <td>・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 県・市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ [削除] ・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設における県文化芸術コーディネーター活動への協力 ・ 制度の周知普及協力	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供	文化芸術活動の担い手を支援す	・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録	<p>○ 「劇場等、実演芸術団体、行政等の相互連携協力」といった劇場法の趣旨を採用【県文化芸術コーディネーター意見】</p>
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	・ アドバイザー適任者の推薦 ・ アドバイザーへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設におけるアドバイザー活動への協力 ・ 制度の周知普及協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供																					
文化芸術活動の担い手を支援す	・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	・ イベントや団体活動等の情報発信 ・ 県・市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勧奨 ・ 閲覧勧奨																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	・ [削除] ・ 県文化芸術コーディネーターへの情報提供・支援 ・ 活動資源情報の提供 ・ 文化施設における県文化芸術コーディネーター活動への協力 ・ 制度の周知普及協力																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	・ 公的支援制度等を活用した自主企画の拡充 ・ 学校教育における文化芸術鑑賞授業との連携 ・ 文化芸術活動の成果発表や伝承活動に対する支援・協力 ・ 指導者情報の提供																					
文化芸術活動の担い手を支援す	・ 施設活用・活動状況の情報提供・登録																					

現行指針 [旧]		改訂案 [新]		理由・考え方・備考
ネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネート活動の周知普及・活動協力 ・ 文化施設間の協働による利便性の向上 	ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネート活動の周知普及・活動協力 ・ 文化施設間の協働による利便性の向上 	
○ 市町村の主な役割 市町村は各地域に最も密着した行政体として、その地域の文化芸術情報の総合的な把握を行い、住民とともに各市町村における振興方向を定めるとともに、文化芸術に関する各種支援サービスの企画・活用勸奨や実施、体制の整備等により、文化芸術活動の活性化とその伝承を支援する機能の一層の充実を期待します。		(7) 市町村の主な役割 市町村は各地域に最も密着した行政体として、その地域の文化芸術情報の総合的な把握を行い、住民とともに各市町村における振興方向を定めるとともに、文化芸術に関する各種支援サービスの企画・活用勸奨や実施、体制の整備等により、文化芸術活動の活性化とその伝承を支援する機能の一層の充実を期待します。		
【指針の目標を達成するための主な役割の例】		【指針の目標を達成するための主な役割の例】		
主な施策方向 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 <u>「彩る」</u>	主な役割の例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源の把握・提供 ・ 伝統芸能等の保存 ・ 市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勸奨 	主な施策方向 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	主な役割の例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源の把握・提供 ・ 伝統芸能等の保存 ・ 市町村文化芸術情報の発信 ・ 図書館等への資料配架・活用勸奨 	
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 <u>「楽しむ」</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイザー適任者の推薦 ・ <u>アドバイザー</u>への情報提供・支援 ・ 文化芸術による地域振興検討時における<u>アドバイザー</u>活用 ・ 制度の周知普及協力 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ [削除] ・ <u>県文化芸術コーディネーター</u>への情報提供・支援 ・ 文化芸術による地域振興検討時における<u>県文化芸術コーディネーター</u>活用 ・ 制度の周知普及協力 	
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 <u>「育む」</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的支援制度の周知及びアドバイス ・ 学校教育における文化芸術鑑賞事業の支援 ・ 文化芸術の発表や交流に対する支援 ・ 学校と地域人材の橋渡し ・ 地域の伝統芸能の支援 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的支援制度の周知及びアドバイス ・ 学校教育における文化芸術鑑賞事業の支援 ・ 文化芸術の発表や交流に対する支援 ・ 学校と地域人材の橋渡し ・ 地域の伝統芸能の支援 	
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 <u>「つなぐ」</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援をコーディネートできる人材の推薦 ・ 市町村の公的支援制度の情報提供・登録 ・ コーディネート活動の周知普及・活動協力 ・ 企業メセナ活動の推奨・普及 ・ 文化芸術活動の推奨等 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ [削除] ・ 市町村の公的支援制度の情報提供・登録 ・ コーディネート活動の周知普及・活動協力 ・ 企業メセナ活動の推奨・普及 ・ 文化芸術活動の推奨等 	
○ 県の責務と主な役割 県は、文化芸術振興基本条例に定められている責務を十分に果たすとともに、県民が一体となった文化芸術の振興に向けて、それぞれが期待される役割を十分に担えるよう必要な支援を行っていきます。		(8) 県の責務と主な役割 県は、文化芸術振興基本条例に定められている責務を十分に果たすとともに、県民が一体となった文化芸術の振興に向けて、それぞれが期待される役割を十分に担えるよう必要な支援を行っていきます。		
【文化芸術振興基本条例に定められている責務】		【文化芸術振興基本条例に定められている責務】		
県の主な責務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の総合的策定・実施（第3条第1項、第6条、第7条、第8条） ・ 国・市町村等との連携・協力（第3条第2項） ・ 県民の認識・理解の促進（第9条） ・ 総合的把握・記録の整備（第10条） ・ 文化財等の保護・活用（第11条） ・ 創造活動に対する支援（第12条） ・ 発信等の充実（第13条） ・ 人材の育成（第14条） ・ 支援活動の促進（第15条） ・ 県民・団体・市町村等の連携の促進（第16条） 		県の主な責務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の総合的策定・実施（第3条第1項、第6条、第7条、第8条） ・ 国・市町村等との連携・協力（第3条第2項） ・ 県民の認識・理解の促進（第9条） ・ 総合的把握・記録の整備（第10条） ・ 文化財等の保護・活用（第11条） ・ 創造活動に対する支援（第12条） ・ 発信等の充実（第13条） ・ 人材の育成（第14条） ・ 支援活動の促進（第15条） ・ 県民・団体・市町村等の連携の促進（第16条） 		

現行指針 [旧]		改訂案 [新]		理由・考え方・備考																		
<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利便性の向上・充実 (第17 条) 歴史的・文化的な景観の保全・活用の推進 (第18 条) 顕彰の実施 (第19 条) 必要な財政上の措置 (第20 条) 		<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利便性の向上・充実 (第17 条) 歴史的・文化的な景観の保全・活用の推進 (第18 条) 顕彰の実施 (第19 条) 必要な財政上の措置 (第20 条) 		<p>○ DVD化は実施済みであることから修正【5年間の取組成果】</p> <p>○ 民俗芸能団体ネットワーク「化」は実施済みであることから修正【5年間の取組成果】</p> <p>○ 主な施策方向「文化芸術と県民との交流支援体制の整備」の内容と重複するため削除。</p>																		
【指針の目標を達成するための主な役割の例】		【指針の目標を達成するための主な役割の例】																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化・DVD化 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの設置・委嘱 アドバイザーの研修機会の確保 アドバイザー活動の基盤情報の提供・DB化 アドバイザー制度の周知普及 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワーク化の支援 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 支援をコーディネートする人材の委嘱 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援 </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」		<ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化・DVD化 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの設置・委嘱 アドバイザーの研修機会の確保 アドバイザー活動の基盤情報の提供・DB化 アドバイザー制度の周知普及 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワーク化の支援 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 支援をコーディネートする人材の委嘱 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策方向</th> <th>主な役割の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化等 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術と県民との交流支援体制の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターの委嘱 県文化芸術コーディネーターの研修機会の確保 県文化芸術コーディネーター活動の基盤情報の提供・データベース化 県文化芸術コーディネーター制度の周知普及 </td> </tr> <tr> <td>豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワークの支援 </td> </tr> <tr> <td>文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 [削除] 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援 </td> </tr> </tbody> </table>	主な施策方向	主な役割の例	日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化等 	文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターの委嘱 県文化芸術コーディネーターの研修機会の確保 県文化芸術コーディネーター活動の基盤情報の提供・データベース化 県文化芸術コーディネーター制度の周知普及 	豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワークの支援 	文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 [削除] 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化・DVD化 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの設置・委嘱 アドバイザーの研修機会の確保 アドバイザー活動の基盤情報の提供・DB化 アドバイザー制度の周知普及 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワーク化の支援 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 支援をコーディネートする人材の委嘱 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援 																					
主な施策方向	主な役割の例																					
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 配信システムの整備 情報の網羅的把握、文化芸術資源の総合調査 提供コンテンツの編成・運用 活動成果の収集発信 文化芸術と景観との情報編成 バーチャルコンテンツの整備 動画等の資料整備 情報の冊子化等 																					
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県文化芸術コーディネーターの委嘱 県文化芸術コーディネーターの研修機会の確保 県文化芸術コーディネーター活動の基盤情報の提供・データベース化 県文化芸術コーディネーター制度の周知普及 																					
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 公的支援制度の改善 文化芸術鑑賞事業の拡充 文化芸術活動支援事業の展開 後継者養成等の研修実施 文化芸術の発表や交流の場の確保 学校における文化伝承への支援 民俗芸能団体のネットワークの支援 																					
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 支援要望・支援資源を登録・発信できるシステムの整備 公的支援情報の収集・DB化 [削除] 企業メセナ活動の推奨・普及 文化芸術活動支援にかかわる関係者のネットワーク化・支援 																					

実施効果の評価

第IV章の「施策の方向」及び第V章の「5年で達成すべき目標」の内容を鑑み、4つの「主な施策」の評価項目において、下記の事項を追記

【主な施策方向1】 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

- 平泉の文化遺産の構成資産等やそれらに込められた普遍的価値・理念について、市町村や関係団体等との連携及び協力により総合的に情報提供されているか
- 岩手の文化芸術に関するホームページや冊子等について、外国語対応のものが増えているか
- 岩手の文化芸術に関するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画サイト等が増え、併せてフォロワーやアクセス数が増えているか

【主な施策方向2】 文化芸術と県民との交流支援体制の整備

- 各広域圏の県文化芸術コーディネーターの活動実績が増えているか
- 各地域において、アートマネジメント力向上に向けた取組（研修会の開催やアートマネジャー育成事業）が行われているか
- 若者等が日頃培った文化芸術を発表する機会や活躍の場が増えているか

【主な施策方向3】 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援

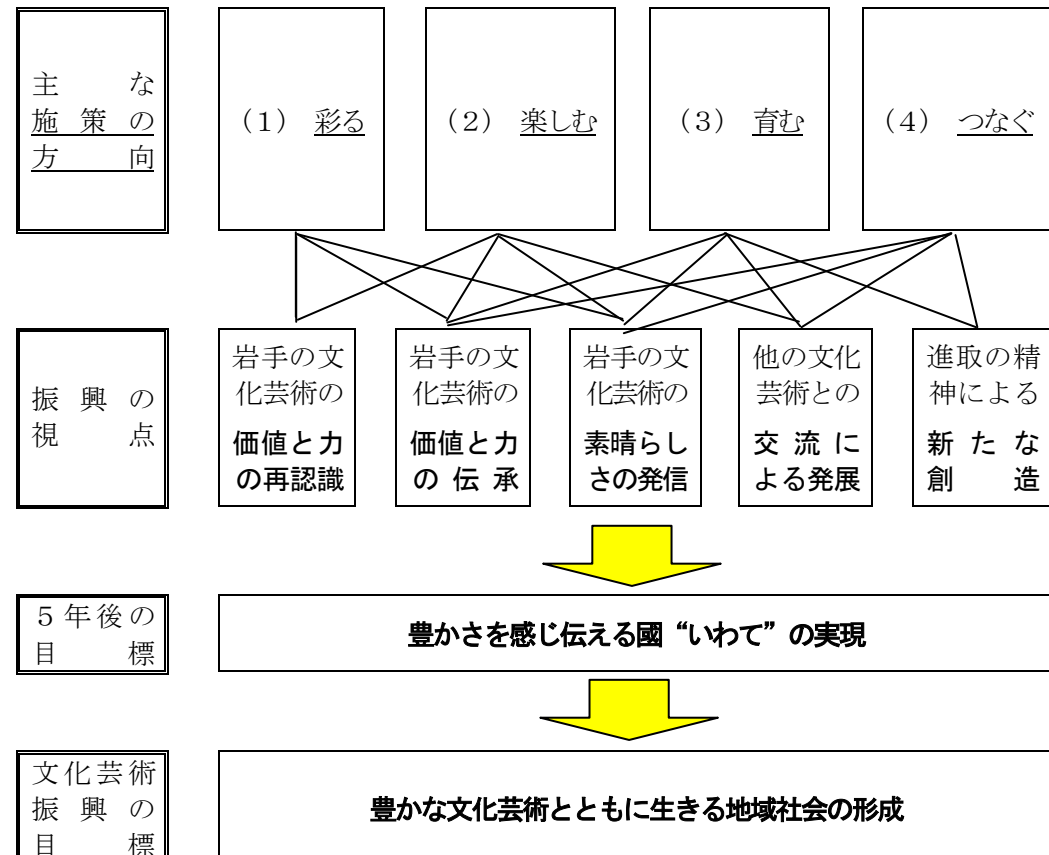
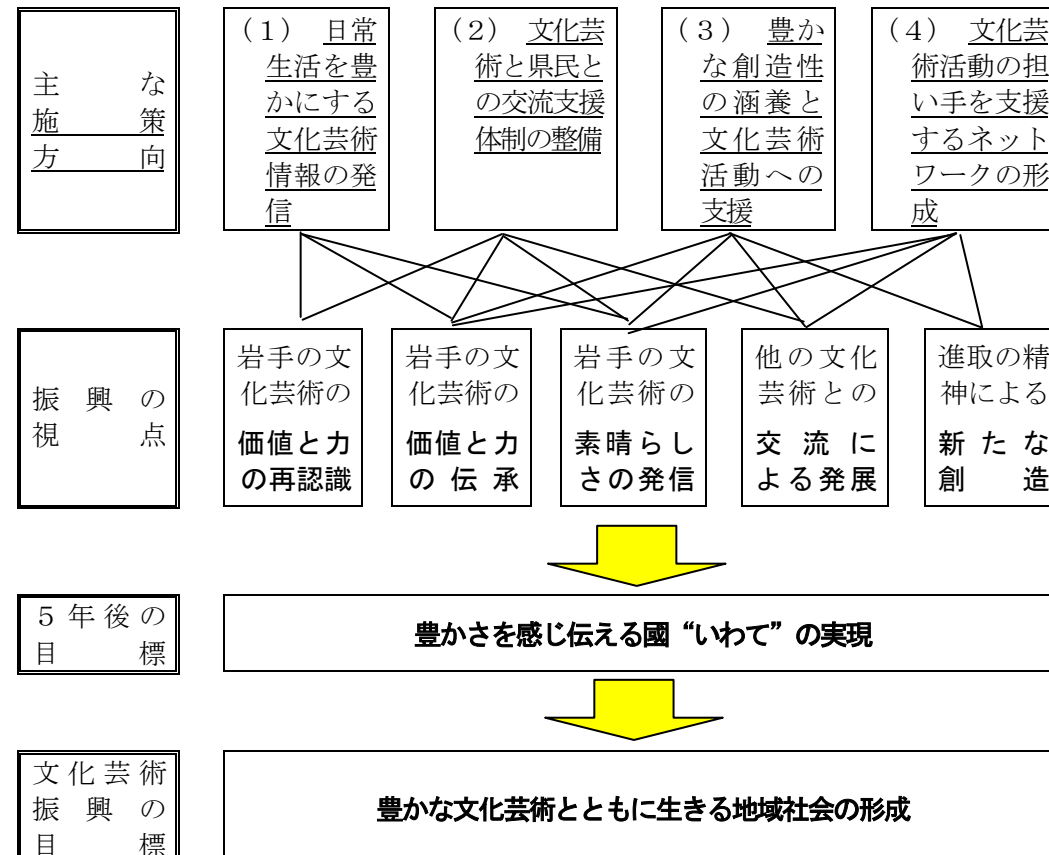
- 平泉の文化遺産に対する県民等の理解と関心が深まり、フォーラム等の参加者数が増えているか
- 沿岸被災地において、活動を再開している文化芸術団体や活動者は増えているか
- 学校教育や地域活動の中で、地域の景観への愛着や誇りを育むための取組・活動が行われているか

【主な施策方向4】 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成

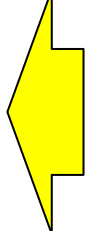

- 文化芸術活動支援ネットワークに参画する団体数・従事者数が増えているか
- 行政機関、住民、団体等が協働し、地域住民主体の景観形成・まちづくり活動が行われているか

3 「V 5年後の姿と実施効果の評価」

※ 下線は、改訂部分であること。

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>V 5年後の姿と実施効果の評価</p> <p>前章では、「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するための「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信～彩る～」、「文化芸術と住民との交流支援体制の整備～楽しむ～」、「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援～育む～」、「文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成～つなぐ～」の4つの施策方向に基づく取組を強化していくことが大切であることを述べていますが、ここでは、その取組の結果5年後にどのような状態になることを目指すのかを明らかにしています。</p> <p>もとより、施策方向に基づく各種取組を着実に実行することが大切ですが、各取組を実行・検証するに当たり、常に目標とする5年後の状態を念頭に置き、さまざまに変化する内外の社会・経済情勢に的確に対応できるよう、その時々で最良の方法を取ることが大切であると考えます。</p> <p>1 5年後の姿</p> <p>この指針は、5年後の姿として、現在よりも、地域の方々が岩手の文化芸術の豊かさをより実感し、その感銘が自らの文化・芸術活動や支援活動につながり、更には現在活躍されている方々の励みとなる社会風土が強まっていることを目指します。</p> <p>また、その豊かさを地域内外の人々や次の世代の方々に自発的に伝えることによって、地域の魅力が高まり、そこで生活している方々の地域への愛着が深まり、地域での支え合いの文化がより醸成されるとともに、外の方々からの評価が高まり地域振興につながっていることも大切です。</p> <p>この指針の「豊かさを感じ伝える國“いわて”」は、この目指す状態を示しているものです。</p>  <p>5年後の状態として「豊かさを感じ伝える國“いわて”」の実現を目指しますが、主な項目として次の実現を目指します。</p>	<p>V 5年後の姿と実施効果の評価</p> <p>前章では、「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するための「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信」、「文化芸術と住民との交流支援体制の整備」、「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援」、「文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成」の4つの施策方向に基づく取組を強化していくことが大切であることを述べていますが、ここでは、その取組の結果5年後にどのような状態になることを目指すのかを明らかにしています。</p> <p>もとより、施策方向に基づく各種取組を着実に実行することが大切ですが、各取組を実行・検証するに当たり、常に目標とする5年後の状態を念頭に置き、さまざまに変化する内外の社会・経済情勢に的確に対応できるよう、その時々で最良の方法を取ることが大切であると考えます。</p> <p>1 5年後の姿</p> <p>この指針は、5年後の姿として、現在よりも、地域の方々が岩手の文化芸術の豊かさをより実感し、その感銘が自らの文化・芸術活動や支援活動につながり、更には現在活躍されている方々の励みとなる社会風土が強まっていることを目指します。</p> <p>また、その豊かさを地域内外の人々や次の世代の方々に自発的に伝えることによって、地域の魅力が高まり、そこで生活している方々の地域への愛着が深まり、地域での支え合いの文化がより醸成されるとともに、外の方々からの評価が高まり地域振興につながっていることも大切です。</p> <p>この指針の「豊かさを感じ伝える國“いわて”」は、この目指す状態を示しているものです。</p>  <p>5年後の状態として「豊かさを感じ伝える國“いわて”」の実現を目指しますが、主な項目として次の実現を目指します。</p>	<p>○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除【委員意見】</p> <p>○ 「施策の方向」の語を「施策方向」に整理・統一することによる修正</p> <p>○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除【委員意見】</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p style="text-align: center;">【5年で達成すべき目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩手の文化芸術情報に日常的に触れる環境が整備されている ○ 地域の文化芸術活動等が広く紹介され、県民が参加先を選べる状態にある <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(1) ～彩る～</p>	<p style="text-align: center;">【5年で達成すべき目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩手の文化芸術情報に日常的に触れる環境が整備されている ○ 地域の文化芸術活動等が広く紹介され、県民が参加先を選べる状態にある ○ <u>地域の伝統文化、平泉の世界文化遺産をはじめとした文化財及びそれらに込められた普遍的価値・理念等についての理解が深まっている。</u> ○ 伝統文化の映像記録を整備し、県民が現在の全ての伝統文化を鑑賞できる ○ <u>国内外の人々に岩手の文化芸術の豊かさがより認識され、評価が高まっている</u> ○ <u>岩手の文化芸術情報を様々な情報伝達手段で入手でき、利便性が高まっている</u> <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(1) 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除(以下、「改訂案」の「施策方向(2)」～「施策方向(4)」部分の表においても同じ。)【委員意見】 ○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】、県内外への情報発信力の強化【5年間の社会経済状況等変化】による追記 ○ 県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記 ○ 多様化する情報発信手段(ツール)・手法への対応【追加・修正の観点】による追記
<ul style="list-style-type: none"> ○ 優れた芸術鑑賞へのアドバイスが行われ、鑑賞の機会が増えている ○ 各地域において文化芸術活動が活発化し、活動者が増えている ○ 文化芸術団体と地域との交流が活発化し、地域とのつながりが深まっている <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(2) ～楽しむ～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 優れた芸術鑑賞へのアドバイスが行われ、鑑賞の機会が増えている ○ 各地域において文化芸術活動が活発化し、活動者が増えている ○ 文化芸術団体と地域との交流が活発化し、地域とのつながりが深まっている ○ <u>様々なジャンルの文化芸術の発表及び鑑賞の場と機会が住民に与えられ、文化芸術を通じた地域振興が展開されている。</u> <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(2) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者文化・新しい文化芸術分野への支援【追加・修正の観点】による追記
<ul style="list-style-type: none"> ○ 優れた文化芸術を幼少期から鑑賞ができる機会が増えている ○ 学校における文化活動が活性化し、より高い評価を受けている ○ 伝統文化の発表の場が確保され、後継者の育成に寄与している ○ 新進・若手芸術家が育つとともに、その発表の場が確保され、活用されている <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(3) ～育む～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 優れた文化芸術を幼少期から鑑賞ができる機会が増えている ○ 学校における文化活動が活性化している ○ 伝統文化の発表の場が確保され、後継者の育成に寄与している ○ 新進・若手芸術家が育つとともに、その発表の場が確保され、活用されている ○ <u>県民の様々な世代において、平泉の世界文化遺産に対する理解と関心が深まっている</u> ○ <u>沿岸被災地において、郷土芸能活動、生活文化継承活動等が活発化し、文化芸術を通じた復旧・復興が進展している。</u> <p style="text-align: center;">【主な手段】</p> <p style="text-align: center;">施策方向(3) 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語句の整理 ○ 、平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】、伝統・生活文化の次世代への確実な継承【追加・修正の観点】による追記 ○ 被災地における文化芸術復旧の支援【追加・修正の観点】による追記

現行指針 [旧]		改訂案 [新]		理由・考え方・備考
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術活動に必要な支援が受けやすく、その支援が増えている ○ 文化芸術活動への社会の理解が深まり、より参加しやすい状況となっている ○ 地域の各団体等に、文化芸術活動情報が広く伝わっている 	 <p>施策方向(4) ～つなぐ～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術活動に必要な支援が受けやすく、その支援が増えている ○ 文化芸術活動への社会の理解が深まり、より参加しやすい状況となっている ○ 地域の各団体等に、文化芸術活動情報が広く伝わっている ○ より多くの団体・活動者が文化芸術活動支援ネットワークに参画し、全県的に文化芸術に関する情報交換や協働、活動・鑑賞が円滑に行われている。 	 <p>施策方向(4) 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術活動支援ネットワークの形成【追加・修正の観点】による追記
<p>2 実施効果の評価</p> <p>5年後の姿を実現できているかどうか、この指針の期間満了時に実施効果の評価を行うことが重要ですが、予め主な評価項目を定めることにより、期間途中においても随時実行状況の検証を行い、進捗状況が思わしくない項目に対する対策を臨機応変に講じることが大切であると考えます。</p> <p>このため、この指針においては、次の各項目を実施効果を判定する主な項目として取り上げることとします。</p> <p>なお、これら进行评估するために、期間当初及び終了後において、現在の調査で不足する必要な調査を実施することが必要です。</p> <div data-bbox="249 892 688 1060" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主な施策方向(1) <u>～彩る～</u> 関係</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 文化芸術に関するホームページが歳時的に網羅され、使いやすいものとなっているか 岩手の文化芸術を広く紹介する冊子が各地図書館等に配架され、利用可能か 文化芸術の映像記録が計画的になされ、記録のないまま途絶えたものがないか 公的に作成した映像記録が、広く県民が活用できる状態にあるか 文化芸術が個別ではなく、他の文化芸術、景観等と一体的に情報提供されているか 生活文化分野における情報発信は、実践できるような紹介になっているか ホームページ上で文化芸術団体や活動者、施設等からの発信ができているか 岩手の文化芸術の豊かさが県外に発信され、国内外の認識が高まっているか <ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産登録、新規文化財指定件数、各種コンクール等の入選等で評価 県外からの文化芸術関係施設等への観光客の入込数等で評価 県の文化芸術発信のホームページのアクセス数が伸びているか <div data-bbox="249 1837 688 1879" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主な施策方向(2) <u>～楽しむ～</u> 関係</p> </div>	<p>2 実施効果の評価</p> <p>5年後の姿を実現できているかどうか、この指針の期間満了時に実施効果の評価を行うことが重要ですが、予め主な評価項目を定めることにより、期間途中においても随時実行状況の検証を行い、進捗状況が思わしくない項目に対する対策を臨機応変に講じることが大切であると考えます。</p> <p>このため、この指針においては、次の各項目を実施効果を判定する主な項目として取り上げることとします。</p> <p>なお、これら进行评估するために、期間当初及び終了後において、現在の調査で不足する必要な調査を実施することが必要です。</p> <div data-bbox="1320 892 1944 1060" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><主な施策方向(1)> <u>「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信」</u> 関係</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 文化芸術に関するホームページが歳時的に網羅され、使いやすいものとなっているか 岩手の文化芸術を広く紹介する冊子等が各地図書館等に配架され、利用可能か 文化芸術の映像記録が計画的になされ、記録のないまま途絶えたものがないか 公的に作成した映像記録が、広く県民が活用できる状態にあるか 文化芸術が個別ではなく、他の文化芸術、景観等と一体的に情報提供されているか 平泉の文化遺産の構成資産等やそれらに込められた普遍的価値・理念について、市町村や関係団体等との連携及び協力により総合的に情報提供されているか 生活文化分野における情報発信は、実践できるような紹介になっているか ホームページ上で文化芸術団体や活動者、施設等からの発信ができているか 岩手の文化芸術の豊かさが県外に発信され、国内外の認識が高まっているか <ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産登録、新規文化財指定件数等で評価 県外及び海外からの文化芸術関係施設等への観光客の入込数等で評価 岩手の文化芸術に関するホームページや冊子等について、外国語対応のものが増えているか 県の文化芸術発信のホームページのアクセス数が伸びているか 岩手の文化芸術に関するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画サイト等が増え、併せてフォロワーやアクセス数が増えているか <div data-bbox="1320 1837 1914 1879" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><主な施策方向(2)></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「4つの施策方向のキーワードはわかりづらい」といった審議会委員意見を参考とし、「主な施策方向」のキーワードを削除(以下、「改訂案」の「施策方向(2)」～「施策方向(4)」においても同じ。)【委員意見】 ○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「ケ」部分も同じ。) ○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】、県内外への情報発信力の強化【5年間の社会経済状況等変化】による追記 ○ 各種コンクール等の入選状況については把握するのが困難であるため削除 ○ 県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記 ○ 県内外への情報発信力の強化【追加・修正の観点】による追記 ○ 多様化する情報発信手段(ツール)・手法への対応【追加・修正の観点】による追記 		

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>1) <u>各広域圏に、適任のアドバイザーが配置され活用されているか</u></p> <p>2) 文化芸術の鑑賞者数が増えているか</p> <p>3) 各地域の文化芸術活動への参加者は増えているか</p> <p>4) 各地域の文化芸術活動団体数は増えているか</p> <p>5) 希望する地域において、文化芸術を核とした地域振興体制ができているか</p> <p>6) 各地域において、文化芸術団体と地域との交流会が開催されているか</p>	<p>「文化芸術と県民との交流支援体制の整備」 関係</p> <p><u>ア 各広域圏の県文化芸術コーディネーターの活動実績が増えているか</u></p> <p>イ 文化芸術の鑑賞者数が増えているか</p> <p>ウ 各地域の文化芸術活動への参加者は増えているか</p> <p>エ 各地域の文化芸術活動団体数は増えているか</p> <p>オ 希望する地域において、文化芸術を核とした地域振興体制ができているか</p> <p>カ 各地域において、文化芸術団体と地域との交流会が開催されているか</p> <p>キ <u>各地域において、アートマネジメント力向上に向けた取組（研修会の開催やアートマネジャー育成事業）が行われているか</u></p> <p>ク <u>若者等が日頃培った文化芸術を発表する機会や活躍の場が増えているか</u></p>	<p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「カ」部分も同じ。)</p> <p>○ 全広域圏への県文化芸術コーディネーターの配置【5年間の取組成果】に伴う表現の修正、県文化芸術コーディネーターの機能強化【追加・修正の観点】による修正</p> <p>○ 「全県的なアートマネジメント能力の向上」といった県文化芸術コーディネーター意見【県文化芸術コーディネーター意見】、文化芸術業務の運営・企画能力を有する人材の育成【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 若者文化・新しい文化芸術分野への支援【追加・修正の観点】による追記</p>
<p>主な施策方向(3) ～育む～ 関係</p> <p>1) 公共的支援資金の活用が高まっているか</p> <p>2) 学校教育における文化芸術鑑賞の機会が増えているか</p> <p>3) 新進・若手芸術家が育ち、県内外で新たに活動している者が現れているか</p> <p>4) 地理的条件等による不利益を解消する事業が展開され、鑑賞者数が増えているか</p> <p>5) 学校教育において地域と連携した伝統文化への取組が強化され、活性化しているか</p> <p>6) 地域の伝承活動を発表する機会が増えているか</p> <p>7) 民俗芸能団体のネットワークが形成され、民俗芸能全体の活性化につながっているか</p>	<p>＜主な施策方向(3)＞</p> <p>「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援」 関係</p> <p><u>ア 公共的支援資金の活用が高まっているか</u></p> <p>イ 学校教育における文化芸術鑑賞の機会が増えているか</p> <p>ウ 新進・若手芸術家が育ち、県内外で新たに活動している者が現れているか</p> <p>エ 地理的条件等による不利益を解消する事業が展開され、鑑賞者数が増えているか</p> <p>オ 学校教育において地域と連携した伝統文化への取組が強化され、活性化しているか</p> <p>カ 地域の伝承活動を発表する機会が増えているか</p> <p><u>【削除】</u></p> <p>キ <u>平泉の文化遺産に対する県民等の理解と関心が深まり、フォーラム等の参加者数が増えているか</u></p> <p>ク <u>沿岸被災地において、活動を再開している文化芸術団体や活動者は増えているか</u></p> <p>ケ <u>学校教育や地域活動の中で、地域の景観への愛着や誇りを育むための取組・活動が行われているか</u></p>	<p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「キ」部分も同じ。)</p> <p>○ 平成20年9月に岩手県民俗芸能団体協議会設立済みであるため削除【5年間の取組成果】</p> <p>○ 平泉の世界文化遺産登録の効果【5年間の社会経済状況等変化】、郷土文化の次世代への確実な継承【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 被災地における文化芸術復旧の支援【追加・修正の観点】による追記</p> <p>○ 伝統・生活文化の次世代への確実な継承、被災地における文化芸術復旧の支援【追加・修正の観点】による追記</p>
<p>主な施策方向(4) ～つなぐ～ 関係</p> <p>1) <u>文化芸術活動に対する支援ネットワークが各地区できているか</u></p> <p>2) 文化芸術活動に対する支援量（金額・人数等）は増えているか</p>	<p>＜主な施策方向(4)＞</p> <p>「文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成」 関係</p> <p><u>ア 文化芸術活動支援ネットワークが各地区できているか</u></p> <p>イ <u>文化芸術活動支援ネットワークに参画する団体数・従事者数が増えているか</u></p> <p>ウ <u>文化芸術活動に対する支援量（金額・人数等）は増えているか</u></p>	<p>○ 見出し記号の整理(以下、「改訂案」の「イ」～「ウ」部分も同じ。)</p> <p>○ 文化芸術活動支援ネットワークの形成【追加・修正の観点】による追記</p>

現行指針 [旧]	改訂案 [新]	理由・考え方・備考
<p>3) 文化芸術活動を行う際必要な場所等の確保が困難なケースが減っているか</p> <p>4) 行政機関（市町村・県・公的機関等）相互の連絡調整体制が強化されているか</p> <p>5) 文化芸術施設相互の連絡調整が強化され、より効果的な施設活用ができていますか</p> <p>6) NPO法人等文化芸術の支援を行う用意のある団体が増えているか</p> <p>7) 企業メセナが活発になり、文化芸術活動への支援が増えているか</p> <p>8) 文化芸術活動への理解が深まり、雇用者等への勤務上の配慮が増えているか</p>	<p>エ 文化芸術活動を行う際必要な場所等の確保が困難なケースが減っているか</p> <p>オ 行政機関（市町村・県・公的機関等）相互の連絡調整体制が強化されているか</p> <p>カ 文化芸術施設相互の連絡調整が強化され、より効果的な施設活用ができていますか</p> <p>キ NPO法人等文化芸術の支援を行う用意のある団体が増えているか</p> <p>ク 企業メセナが活発になり、文化芸術活動への支援が増えているか</p> <p>ケ 文化芸術活動への理解が深まり、雇用者等への勤務上の配慮が増えているか</p> <p>コ 行政機関、住民、団体等が協働し、地域住民主体の景観形成・まちづくり活動が行われているか</p>	<p>○ 文化芸術活動支援ネットワークの形成 【追加・修正の観点】による追記</p>